

社会開発協力部

日本・パナマ職業訓練センタープロジェクト 計画打合せ調査団報告書

昭和62年12月
1987

国際協力事業団
社会開発協力部

LIBRARY

海 七
JR
88-129

JICA LIBRARY



1075389(5)

19361

日本・パナマ職業訓練センタープロジェクト
計画打合せ調査団報告書

昭和62年12月

国際協力事業団
社会開発協力部

国際協力事業団

19361



▲センター（電子科）を視察する調査団。左2人目より寺嶋団長，
渡辺団員，生野リーダー，山口団員。



▲自動車整備科を視察する調査団。左2人目よりエレラ所長，
寺嶋団長，鬼塚専門家，山口団員，渡辺団員，大塚調整員。

目 次

写 真

1. 計画打合せ調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程および主要面談者	1
2. 調査結果概要	3
2-1 調査の進め方	3
2-2 調査結果	3
3. 訓練の進捗状況	7
3-1 訓練の概況	7
3-2 訓練の実施状況	7
4. 技術移転の進捗状況	9
4-1 総括	9
4-2 自動車整備科	9
4-3 板金塗装科	9
4-4 溶接科	10
4-5 各科の技術移転進捗状況表	10
5. パナマ側の子算の動き	31
5-1 これまでの実績	31
5-2 1988年度予算要求の動き	31
6. 本プロジェクトに対するパナマ側の評価	32
6-1 一般的評価	32
6-2 工場訓練実習先における評価	33

参考資料	35
1. パナマ共和国主要経済指標	37
2. パナマ政府機構図	38
3. パナマ職業訓練庁 (INAFORP) 組織図	39
4. ライリー INAFORP 長官履歴	40
5. パナマ職業訓練統計集 1985 年度版	41

1. 計画打合せ調査団の派遣

1-1 調査団派遣の目的

1982年8月26日に協力を開始した本プロジェクトは1986年10月に派遣されたエバリュエーション調査団の調査結果に基づき、溶接・自動車整備・板金塗装の3分野について協力期間の延長（2年間）が決定された。本調査団は、延長決定後1年余を経過した本プロジェクトの進捗状況を確認し、残期間の協力計画について「パ」側と協議するために派遣された。

1-2 調査団の構成

氏名	担当分野	職	位
寺嶋千明	総括	労働省 職業能力開発局 技能振興課	上席技能検定官
山口芳幸	教材開発	労働省 職業能力開発局 海外協力課	海外訓練協力官
渡辺肇	協力計画	国際協力事業団 社会開発協力部	海外センター課職員

1-3 調査日程および主要面談者

〈調査日程〉

日順	月・日	行 程	調 査 内 容
(寺嶋団長)			
1	10/6(火)	東京IL-006→ニューヨーク	} 移動
2	7(水)	ニューヨークEA-977→パナマ	
(山口, 渡辺団員)※ペルーでの調査終了後合流			
3	10/8(木)	リマOP-112→パナマ	移動
4	9(金)		・日本大使館表敬 ・外務省, 経済企画省表敬 ・INAFORP表敬・施設視察 ・専門家チームとの打ち合わせ
5	10(土)		・INAFORPにおける協議 ・INAFORP長官主催昼食会 ・調査団主催夕食会
6	11(日)		・協議事項とりまとめ
7	12(月)		・大使館報告 (休日)
8	13(火)	パナマPA-428→ニューヨーク	} 移動
9	14(水)	ニューヨークIL-005	
10	15(木)	→東京	

〈主要面談者〉

(パナマ側)

ENRIQUE RILEY-PUGA	INAFORP 長官
ISABEL QUIROZ	INAFORP 企画計画部長
ARCHIBALDO F. CLEALAND	INAFORP 訓練部長
ARIEL HERERA	INAFORP 日・パセンター所長
CARMEN HIM LUGUE	外務省経済協力課課長補佐
CARMEN CELIA	同 上

(日本側)

渡辺和司 在「パ」日本大使館一等書記官
生野次雄リーダー以下日本人専門家チーム

2. 調査結果概要

2-1 調査の進め方

調査は、①リーダー・専門家・調整員からの実情ヒアリング、②施設の視察、③ INAFORPとの協議、④カウンターパートとの面接により、86年10月エバ調査団により組み立てられた今後のプロジェクトの基本的事項に関し、その後の技術移転の進捗状況および今後の実施計画、プロジェクトの運営状況、その他問題点の把握について実施した。

2-2 調査結果

(1) 総括

- イ 当プロジェクトに対するパナマ側の取り組みは評価できる。
- ロ 日本・パナマ職業訓練センターは、パナマ国における職業訓練の中核として成長しつつある。
- ハ 電気科、電子科および冷凍・空調科は、現在のところ順調に運営されているが、一方、パナマ側は完全な自立に対し不安を持ち短期専門家の派遣を希望している。
- ニ 自動車整備科および溶接科はほぼ順調に技術移転が進められ、板金・塗装科は、供与機材、カウンターパートの配置等の問題から技術移転計画より遅れ気味である。
- ホ INAFORPにおいて全体的取り組みは評価できるが、施設の維持、資材の調達等にきめ細かさの欠ける一面がある。

(2) 個別的事項

- イ 86年ミニッツ（1986年10月のエバリユエーション調査団報告書参照）により合意された諸点について

「(6) INAFORP 長官および専門家チームリーダーは毎週1回の定例会議……を持つ」に関し、ほとんど実行されていない。そこでその趣旨と目的を説明し、86年ミニッツの順守方を要請、「パ」側は了解した。

- ロ 調査団よりの要望事項

(イ) 実習場の整備

自動車整備科、板金塗装科の実習場整備が完了していないために、雨もり・雨水の流入を生じ、機器管理等に支障をきたしている。そこで調査団より、可及的速やかに整備を完了する旨要請したところ、「パ」側より努力する旨の回答がなされた。

(ロ) 訓練資材の計画的調達

「パ」側の訓練資材調達が計画的でない（予算が入れば一度に大量に購入するが、予算がなくなると購入がストップしてしまう）点を指摘し、善処方を要請した。

(イ) カウンターパート指導員の離職防止および変更時の通告

調査団より、カウンターパート指導員の交替が事前の通告もなしにひんぱんに行われることに関して、離職防止対策の徹底、変更の場合は可及的速やかに日本側に通告することを要請した。

(ロ) 修了式の開催

調査団より修了式の開催が定期的ではない点を指摘し善処方要請したところ、「パ」側より、①政権の動揺、②工場内訓練のレポートの提出を待つ必要がある、③地方からの訓練生をパナマに呼ぶのが難しい、④各学科ごとに卒業時期・訓練期間・就職時期が異なるので定期的実施が困難、といった理由が提示された上で、善処方努力する旨の発言がなされた。

ハ パナマ側よりの要請事項

(イ) 大塚調整員の任期延長

同調整員の任期は1987年11月末日で終了するが、「パ」側より、1988年3月末日までの任期延長を要請越した。理由として、①残協力期間も2年を切り、これまで本件職訓プロジェクトに携わりプロジェクトを熟知している同調整員を引き続き起用することがプロジェクトの運営上も好ましい、②生野新リーダーも着任して間もなく、双方の意思の疎通を円滑に保つためには、同調整員が今しばらく必要である、③同調整員のこれまでの実績を高く評価している、といった点があげられた。

調査団としては本要請を持ち帰り検討することとし、要請書を提出するよう発言した。

(ロ) コンピューター講座の充実と拡大計画

「パ」側の説明は以下の通りである。

(概要)

2年程前から、「パ」国内企業および訓練生の要求もあり、電子科の応用コースとしてコンピューター講座が開設され、ローカルコストで8ビット機・プリンター等を購入し、一応の成果をあげている。しかし現段階ではパソコンの操作だけに終わっており、正式なシステムコンピューターを勉強するには不適當である。そこで新コースの開設を含め、本講座のグレードアップを図り、企業等の要求にそった向上訓練を行えるコンピューターセンターとして確立しようというものである。

(「パ」側のとる措置)

- ① 7名のインストラクター配置
- ② 158m²の区画に電気・ガス

③ 備品、机、椅子の用意

(日本に対する要請)

① システムエンジニア専門家の派遣 (2年間)

② カウンターパート研修員3名の日本研修

③ システムコンピューターを中心とする総額約10万ドルの機材供与

本要請は協力終了済みの電子科応用コースの充実・拡大という性格のものであるが、コンピューターはそれ自体独立の分野と考えることもでき、日本側の投入量によってはR/Dとの関係も出てくる。調査団としては本要請を持ち帰り検討する旨発言した。

(c) 電気・電子・冷凍空調分野専門家 (短期) の派遣

上記3分野は既に1987年8月25日を以て協力を終了しているが、この分野における技術革新は日々目ざましいものがあるので、3ヵ月程度の短期専門家を再度派遣してほしい旨、「パ」側から要請がなされた。

調査団としては、必要性が認められれば日本側としても派遣を検討する旨発言、追って正式に要請が提出されるものと思われる。

(二) 地方への協力の拡大

日・パ職訓センター (パナマ市) で行われている日本の協力プロジェクトを地方のサブ・センター (チリキ県およびベラグアス県) へ縮小した形で拡大するというものである。具体的には以下の通り。

(「パ」側のとる措置)

① 各サブ・センターに3名のインストラクター

② 7,280m²の施設およびインフラの整備

③ 備品・机・椅子の用意

(日本に対する要請)

① 短期専門家の地方派遣

② カウンターパート研修員の日本研修

③ 地方のサブ・センターに対する機材・工具等の供与

④ 巡回指導等のためのジープ2台の供与

本構想についてはこれまでの調査団にも何回か話があったものであり、詳しい計画書を提出するよう「パ」側に指示していた経緯があるが、現時点に至るまで計画書の提出はない。調査団としても、プロジェクトの地方への拡大はR/Dとの関係も出てくるので、要請を持ち帰る旨発言するにとどめた。

(d) 技能検定に係る短期専門家の派遣

INAFORPにおいては、「パ」国内に資格・検定制度をつくることを検討しているが、

日本にある技能検定制度に関する知識・情報を得るため、短期の専門家を派遣してほしい旨、「パ」側から要請がなされた。「パ」側としては2名のカウンターパートを用意、派遣期間は4ヵ月程度とのことであった。

INAFORP が単に検討材料としての情報を得るだけのために技能検定専門家の派遣を期待しているのか、その意図が必ずしも明確ではなかった。調査団としては、専門家の T/R を明確にすることを勧告するとともに、本要請を持ち帰る旨発言した。

3. 訓練の進捗状況

3-1 訓練の概況

本プロジェクトは、当初1982年8月26日から87年8月25日までの5ヵ年間の協力期間としてスタートし、溶接、自動車整備、板金塗装、電気、電子、冷凍空調の6職種を対象に訓練コースを開設して中堅技能者を養成することを目的として実施にうつされた。

電子、電気は83年12月、冷凍空調は85年2月にそれぞれ訓練を開始したが、建物の未完成によりコースの開始が遅れていた溶接は86年7月、自動車整備および板金塗装の両科については86年12月に開講がずれこんだ。

86年11月に実施したエバリュエーション調査により、当初目標を達成できると判断された電子、電気および冷凍空調の3科については予定どおり87年8月をもって終了とし、他方、他の3科については、R/D期間終了時までには技術移転が完了する見込みがないため、継続協力をする事となった。各科の延長期間は下記のとおりである。

- ① 溶接：1989年4月2日まで
- ② 自動車整備：1989年8月25日まで
- ③ 板金塗装：1989年8月25日まで

3-2 訓練の実施状況

各科の訓練の実施状況は、第1表に示すとおり、現在まで修了生は96名にのぼり在校生も114名である。入校の資格は、高校または職業高校卒業程度の学力を有する25歳までの者で、受講に適格と認められる者であるが、87年の競争倍率は4.4倍にのぼっている。

第1表 日本・パナマ職業訓練センター・プロジェクト訓練概要

訓練科	訓練生定員	訓練期間	訓練開始時期	入校生数, 修了生数
※ 電気	16名	1年	第1回 1983年12月12日 第2回 1985年2月25日 第3回 1986年2月24日 第4回 1987年3月30日	入校 16 修了 14 入校 18 修了 14 入校 18 修了 18 入校 15
※ 電子	16名	2年	第1回 1983年12月12日 第2回 1985年2月25日 第3回 1986年2月24日 第4回 1987年3月30日	入校 16 修了 14 入校 18 修了 12 入校 18 入校 18
※ 冷凍	16名	1年	第1回 1985年2月25日 第2回 1986年2月24日 第3回 1987年3月30日	入校 16 修了 14 入校 14 修了 10 入校 16
溶接	16名	1年	第1回 1986年7月7日 (修了式は87年10月21日の予定)	入校 15
自動車整備	16名	1年	第1回 1986年12月9日	入校 16
板金塗装	16名	1年	第1回 1986年12月9日	入校 14

※わが国の協力は1987年8月25日をもって終了。

受講資格：高校または職業高校卒業程度以上の学力を有する25歳までの者で、受講に適格と認められるもの。

年度別応募状況：1984年（電気，電子）	応募者数 218人	競争率 6.8倍
1985年（電気，電子，冷空）	応募者数 225人	競争率 4.7倍
1986年（電気，電子，冷空，溶接）	応募者数 207人	競争率 3.0倍
1986年（自整，板金）	応募者数 73人	競争率 2.3倍
1987年（電気，電子，冷空）	応募者数 211人	競争率 4.4倍

4. 技術移転の進捗状況

協力が終了した電子科、電気科に関しては、技術移転も終了し、問題はないことが確認された。しかし、電子分野においては、わが国から無償供与された医療用電子機器の操作・保守・管理について十分な知識がなく、INAFORPにこのための要請があがっており、電子分野のカウンターパートのわが国での研修において医療用電子機器のための研修を実施してほしい旨の要請があった。

現在協力継続中の分野についての進捗状況は下記のとおりである。

4-1 総括

① 進捗状況および対応状況等

本プロジェクトは概ね順調に進展しており、INAFORP側の協力体制も十分に配慮されており、特に大きな問題はない。ただし、パナマにおける経済情勢の悪化および社会不安の増加等の問題があるので、この面に対する対処方法を考慮に入れる必要がある。

② 機材等の維持管理

機材の維持管理状況は、概ね良好である。ファックスを10月上旬に導入した。カウンターパートの配置状況も完全とは言えないが、国柄を考慮すると止むを得ない面もあるので、一応実施体制は整っていると考えられる。

4-2 自動車整備科

実習場の工事の遅れにより、当初計画より若干遅れ気味に進行中であるが、カウンターパート3名に対する技術移転を行っている（カウンターパート1名が現在指導法のセミナーに参加している）。

専門家はOHPシート（約300枚）を作成し、その説明文および機材マニュアルを翻訳しており、その活用度は高い。

機材の維持管理については、工具担当を配置するなどの措置が講じられており、活用頻度も高い。しかし、実習場の工事の遅れや湿気対策については、対策が取られていないことが問題となっている。

4-3 板金塗装科

一般的に教材の購入が遅れ、訓練計画に遅れが生じている。このため、現地業務費の増額が望まれるところである。塗装に関しては2名の短期専門家による技術移転が終了したが、同専門家の滞在中、政情不安に伴うストライキ等の影響で完全に消化しきれなかった。

4-4 溶接科

実技に関する技術移転状況は、その分野にもよるが30~70%の消化率である。教材の作成状況に関しては20~50%であり、翻訳費について要求したいとの専門家の言であった。

4-5 各科の技術移転進捗状況表

訓練科目別習熟度評価表 (学科)

自動車整備科

科 目	カ ウ ン タ ー パ ー ト 氏 名			備 考
	カルロス モリナレス	バルバ ダゴベルト	アルヌルフォ サンチェス	
機械工作法	B	B	C	
自動車数学	B	B	B	
製図	-	-	-	
材料	B	B	B	
安全衛生	-	-	-	
エンジンI	A	A	B	
エンジンII	B	B	A	
シャシI	B	B	B	
シャシII	B	B	C	
電気基礎理論	B	B	B	
電気装置	B	B	C	

(A:調査時点でよく習得している
B:R/D協力期間満了までに習得可
C:R/D協力期間満了までに習得不可)

訓練科目別習熟度評価表 (実技)

自動車整備科

科 目	カ ウ ン タ ー パ ー ト 氏 名			備 考
	カルロス モリナレス	バルバ ダゴベルト	アルヌルフオ サンチェス	
仕上げ作業 1. はつり作業 2. けがき作業 3. 切断作業 4. やすり作業 5. 穴あけ、ネジ切り作業	B B B B B	B B B B B	B B B B B	
溶接作業 1. 装置の取り扱い、安全 2. ガス溶接作業 3. ガス切断作業 4. アーク溶接作業 5. ろう付け作業	B B B B B	B B B B B	B B B C B	
機械工作作業 1. 手工具の取り扱い 2. 工作機械の取り扱い 3. その他の機器の取り扱い 4. 自動車用機器の取り扱い	A B B B	A B B B	A B B B	
測定作業 1. 一般計測器 2. 自動車用測定機器	B B	B B	B B	
ガソリン・エンジン作業 1. エンジン本体 2. 付属装置	A A	A A	B C	
エンジン電気装置作業	C	C	C	
シャシ作業 1. 動力伝達装置 2. 走向装置 3. ブレーキ装置 4. フレーム・懸架装置 5. 車体装置	B B B B B	B B B B B	B B B B B	
シャシ電気装置作業	B	B	C	
ディーゼル・エンジン作業 1. エンジン本体 2. 付属装置	B B	B B	A B	
検査作業	C	C	C	

(A : 調査時点でよく習得している
B : R/D協力期間満了までに習得可
C : R/D協力期間満了までに習得不可)

供与機材活用状況

自動車整備科

供与機材名	台数	使用度				カウンタート部の 操作保守能力				設置状況			問題点および対策
		A	B	C	A	B	C	D	A	B	C		
二柱リフト	3	○			○					○			
エアリフト	1			○									周辺設備不備のため、現在 まで使用せず。
シリンダーボーリングマシン	1	○			○								
コンロッド・アライナー	1	○			○								
シリンダーホーニングマシン	1		○			○				○			
ピストンヒータ	1	○			○								
ブレーキシューグラインダ	1		○			○							
バルブシートグラインダ	1	○			○								
バルブ・リフェーサ	1	○			○								
ユニバーサルクラッチ・ドラ ムレース	1		○		○								
カーワッシャー	1							○				○	水道設備工事の未完了。
エア・エレメントテスタ	1												エア配管設備工事の未完 了。
タイヤ・チェンジャ	1	○			○					○			同上。
噴射ポンプテスター	1			○				○				○	電源の不備。
ホイールバランス	1	○			○					○			
排出ガステスター	1			○				○					
シャシダイナモメータ	1		○					○					
ジーゼルスモークメータ	1			○				○					エア配管設備工事の未完 了。
ブレーキ・テスタ	1		○			○				○			短期専門家による要調整。
ヘッドライト・テスタ	1	○			○					○			
ホイールアライナー	1	○			○					○			
サイドスリップテスタ	1	○			○					○			
直立ボール盤	1	○				○				○			

《評価基準》

カウンタート部の操作保守能力

- A：操作方法を確実に習得し、応用ができる。
- B：基本操作方法を習得している。
- C：操作できない（協力期間内には習得可）。
- D：操作できない（協力期間内では習得不可）。

使用度

- A：訓練に非常に有効に活用している。
- B：訓練に活用している。
- C：訓練にあまり活用されていない。

設置状況

- A：使用しやすい。
- B：使用しにくい。
- C：使用が可能な状態に設置されていない。

供与機材活用状況

自動車整備科

供与機材名	台数	使用度			カウンターパートの 操作保守能力				設置状況			問題点および対策
		A	B	C	A	B	C	D	A	B	C	
卓上ボール盤	2	○			○				○			
両頭グラインダ	2	○			○				○			
油圧プレス		○			○							ポンプ・ピストン・シール部損傷。携行機材にて申請中。
充電器	2	○			○							
エアコンガスチャージャ	1			○				○				
ベビークレーン	1	○			○							
教材用エンジン	8	○			○				○			
同上カットエンジン	3	○			○							
4柱リフト	1	○			○							短期専門家による要調整。
エア・インフレーター	1	○			○				○			
ベアリングギアブーラセット	1	○			○							
<p>《評価基準》</p> <p>カウンターパートの操作保守能力</p> <p>A：操作方法を確実に習得し、応用ができる。 B：基本操作方法を習得している。 C：操作できない（協力期間内には習得可）。 D：操作できない（協力期間内では習得不可）。</p> <p>使用度</p> <p>A：訓練に非常に有効に活用している。 B：訓練に活用している。 C：訓練にあまり活用されていない。</p> <p>設置状況</p> <p>A：使用しやすい。 B：使用しにくい。 C：使用が可能な状態に設置されていない。</p>												

技術移転計画と実施

自動車整備科

担当者	年/月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
カウンターパート氏名													
鬼	カウンターパート 訓練担当計画	ガソリンエンジン (70H)	シャシ II (60H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)	ガソリンエンジン (30H)
塚	技術移転計画	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業
鬼	実施												
鬼	カウンターパート 訓練担当計画	ガソリンエンジン (60H)	シャシ I (60H)	ガソリンエンジン (60H)	シャシ I (60H)	ガソリンエンジン (60H)	シャシ I (60H)	ガソリンエンジン (60H)	シャシ I (60H)	ガソリンエンジン (60H)	シャシ I (60H)	ガソリンエンジン (60H)	シャシ I (60H)
塚	技術移転計画	ディーゼルエンジン作業	シャシ作業	ディーゼルエンジン作業	シャシ作業	ディーゼルエンジン作業	シャシ作業	ディーゼルエンジン作業	シャシ作業	ディーゼルエンジン作業	シャシ作業	ディーゼルエンジン作業	シャシ作業
鬼	実施												
鬼	カウンターパート 訓練担当計画	電気基礎 (40H)	ガソリンエンジン	電気基礎 (40H)	ガソリンエンジン	電気基礎 (40H)	ガソリンエンジン	電気基礎 (40H)	ガソリンエンジン	電気基礎 (40H)	ガソリンエンジン	電気基礎 (40H)	ガソリンエンジン
塚	技術移転計画	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業	電気基礎作業	シャシ作業
鬼	実施												

* C/P. サンチエス氏日本研修終了後、学科担当に変更を生じた。

今後の技術移転計画

自動車整備科

カウンタ バー 氏名	担当者	年/月	88年												89年											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4											
バ ル バ	鬼 塚	カウンター 訓練担当計画	シャシ (100H)												ガソリンエンジン (150H)											
		技術移転計画	ガソリンエンジン作業・エンジン電気装置作業												ディーゼルエンジン 溶接作業											
		突	シャシ・シャシ電気作業 検査作業 訂面作成												エンジン作業											
モ リ ナ レ ス	鬼 塚	カウンター 訓練担当計画	電気装置 (90H)												基礎電気 (30H)											
		技術移転計画	ガソリン・エンジン作業・エンジン電気装置作業												機械工作作業											
		突	シャシ II (60H)												シャシ・シャシ電気作業 検査作業 訂面作成											
サ ン チ エ ス	鬼 塚	カウンター 訓練担当計画	基礎電気 (30H)												材料 (30H)											
		技術移転計画	ガソリンエンジン作業・エンジン電気装置作業												ディーゼルエンジン 検査作業 訂面作成 溶接・仕上・測定作業											
		突	シャシ・シャシ電気作業												エンジン作業											

今後の技術移転計画

自動車整備科

カウンター パート 氏名	担当者	年/月	89年					
			5	6	7	8		
パールバ	鬼塚	カウンタパート 訓練担当計画	シャシⅡ (50H)					
		技術移転計画	電気設置作業、ディーゼルエンジン					
		突 施						
モリナレス	鬼塚	カウンタパート 訓練担当計画	ディーゼルエンジン (70H)					
		技術移転計画	電気設置、ディーゼルエンジン					
		突 施						
サンチエス	鬼塚	カウンタパート 訓練担当計画	電気整備 (90H)					
		技術移転計画	シャシ (100H)					
		突 施	電気設置、ディーゼルエンジン					

訓練科目別習熟度評価表 (学科)

板金塗装科

科 目	カ ウ ン タ ー パ ー ト 氏 名			
	アルハデコス バレス	プリモ エスクロビス	ルイス デ・セイダ	シルベステイ
数学	C	B	B	C
製図	C	B	B	C
材料	C	B	B	B
板金	C	B	B	B
溶接	C	B	B	B
車体の構造と整備	C	B	B	B
電気装置の構造	C	B	B	B
金属塗装	C	B	B	B
手仕上げ	C	B	B	B
板金作業	C	B	B	B
溶接作業	C	B	B	B
自動車板金作業	C	B	B	B
金属塗装の基礎	C	B	B	B
自動車作業	C	B	B	B

(A : 調査時点でよく習得している
 B : R/D協力期間満了までに習得可
 C : R/D協力期間満了までに習得不可)

供与機材活用状況

板金塗装科

供与機材名	台数	使用度			カウンターパートの 操作保守能力				設置状況			問題点および対策	
		A	B	C	A	B	C	D	A	B	C		
電気溶接機	1		○			○				○			電気配線工事遅れ。
CO ₂ 半自動溶接機	2			○							○		電気配線工事遅れ。
折曲げ機	1		○			○				○			未調整。
切断機	1		○			○				○			電気配線工事遅れ。
帯ノコ盤	1			○			○			○			電気配線工事遅れ。
ポータブルスポット溶接機	1		○			○				○			電気配線工事遅れ。
卓上ボール盤	2	○			○					○			電気配線工事遅れ。
高速切断機	2	○			○					○			電気配線工事遅れ。
両頭グラインダー	2	○			○					○			電気配線工事遅れ。
赤外線乾燥スタンド	2		○		○					○			電気配線工事遅れ。
ひずみ取り機	1			○	○					○			電気配線工事遅れ。
自動車塗装ブース	1		○		○					○			組立調整未完了。 短期専門家調整待ち。
塗装ブース	1		○		○					○			組立調整未完了。 短期専門家調整待ち。
コンプレッサー	1	○				○				○			電気配線工事遅れ。
ガレージジャッキ	2		○		○					○			

《評価基準》	
カウンターパートの操作保守能力 A：操作方法を確実に習得し、応用ができる。 B：基本操作方法を習得している。 C：操作できない（協力期間内には習得可）。 D：操作できない（協力期間内では習得不可）。	使用度 A：訓練に非常に有効に活用している。 B：訓練に活用している。 C：訓練にあまり活用されていない。
	設置状況 A：使用しやすい。 B：使用しにくい。 C：使用が可能な状態に設置されていない。

R/D期間中および延長後のマスタープラン

計画
実績

板金塗装科

	1987		1988		1989		2	3	4	5	6	7	8	9
	8	9	10	11	12	1	12	1	2	3	4	5	6	7
年間訓練計画 週間訓練計画	↔		↔											
実習場新築工事の討 議及びアドバイス	↔													
教科書作成 (指導案・指導書)	↔	↔												
視聴覚教材作成	↔													
供与機材 検収・設置・試運転	↔													
供与機材 取扱い・保守点検 の技術移転	↔	↔												
その他の技術移転	↔													
備考		9/10 卒業短期専門家来る			第一回生修了	第二回生入校							第二回生修了	第三回生入校

今後の技術移転計画

板金塗装科

カウンター名	担当者	年/月		日														
		1986年	1987年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
デ・セイダ	小 寺	カウンタパート 訓練担当計画	板金手仕上げ (40H)	板金 (90H)	溶接 (45H)													
		技術移転計画	板金、手仕上げ、板金、溶接 (作業分解、指導費)															
シルベスタイ	小 寺	カウンタパート 訓練担当計画	板金手仕上げ (10H)	板金 (90H)	溶接 (45H)	板金 (110H)	溶接 (35H)	溶接 (200H)	塗装 (130H)	自動車修理 (120H)	自動車塗装 (148H)	応用実技						
		技術移転計画	板金、手仕上げ、板金、溶接、塗装、自動車修理、塗装 (作業分解、指導費)															
エスコロピス	小 寺	カウンタパート 訓練担当計画						溶接 (35H)	塗装 (200H)	自動車修理 (130H)	自動車塗装 (120H)	応用実技 (148H)						
		技術移転計画	溶接、塗装、自動車修理、塗装 (作業分解、指導費)															
ペ ル ベ ス タ イ ー エ ス ク ロ ピ ス	塗装短期専門家	カウンタパート 訓練担当計画																
		技術移転計画	塗装(基礎と自動車の塗装)															
		突																
		突																
		突																

今後の技術移転計画

板金塗装科

カウンタート ナンバー 氏名	担当者	年/月	1987年 1988年												
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
デ・セイダ	小	カウンタート 訓練担当計画	日本研修 板金 溶接 (60H) (45H)	板金 溶接 (70H)	板金 溶接 (35H)	溶接 (200H)	塗装 (130H) (120H)	自動修理 自動塗装 (148H)	應用実技						
		技術移転計画	板金, 溶接, 塗装, 自動車修理, 自動車板金 (作業分解, 指導等)												
ベ ル ス	小	カウンタート 訓練担当計画	板金 手仕上げ (10H) (40H)	板金 溶接 (40H)	板金 溶接 (70H)	溶接 (35H)	塗装 (200H)	自動修理 自動車塗装 (120H)	應用実技						
		技術移転計画	手仕上げ, 板金, 溶接, 塗装, 自動車修理, 自動車塗装 (作業分解, 指導等)												
エ ス ク ロ と ス	小	カウンタート 訓練担当計画	板金 手仕上げ (10H) (40H)	板金 溶接 (45H)	板金 溶接 (70H)	溶接 (35H)	塗装 (200H)	自動修理 自動塗装 (120H)	應用実技						
		技術移転計画	手仕上げ, 板金, 溶接, 塗装, 自動車修理, 自動車塗装 (作業分解, 指導等)												
	寺	実													
	寺	実													

今後の技術移転計画

板金塗装科

カウンタ パー 氏名	担当者	年/月	1988年															
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
デ・セイダ	小 寺	カウンタパーパート 訓練担当計画																
		技術移転計画	工場板金, 自動車板金・塗装 (教科書, 向上訓練, 作業分解・指導書, 視聴覚等)															
		突 施																
ベレス	小 寺	カウンタパーパート 訓練担当計画																
		技術移転計画	工場板金, 自動車板金・塗装 (教科書, 向上訓練, 作業分解・指導書, 視聴覚等)															
		突 施																
エスプロビス	小 寺	カウンタパーパート 訓練担当計画																
		技術移転計画	工場板金, 自動車板金・塗装 (教科書, 向上訓練, 作業分解・指導書, 視聴覚等)															
		突 施																

供与機材活用状況

溶接科

供与機材名	台数	使用度			カウンタパートの 操作保守能力				設置状況			問題点および対策	
		A	B	C	A	B	C	D	A	B	C		
ビッカース硬度計	1		○			○				○			組立が終了していない。
ロックウェル硬度計	1		○			○				○			組立が終了していない。
金属顕微鏡	1		○			○				○			組立が終了していない。
試料切断機	1		○			○							
試料研磨機	1		○			○				○			組立が終了していない。
ガス集合装置	1	○				○				○			コネクションパイプが未到着のため使用不能。再加工による現地修理方法を検討中。
交流アーク溶接機	16	○											
炭酸ガス溶接機	4		○			○							
TIG溶接機	2		○			○							
MIG溶接機	2		○			○							
サブマージアーク溶接機	1						○					○	二次側ケーブル入手不能のため。
スポット溶接機	1		○			○							
ポータブル点溶接機	1						○			○			板金科移転。
プラズマ切断機	1							○				○	組立が終了していない。また、トーチ台車が供与されていないので使用不能。見積りし、来年予算で供与。

《評価基準》	
カウンタパートの操作保守能力 A：操作方法を確実に習得し、応用ができる。 B：基本操作方法を習得している。 C：操作できない（協力期間内には習得可）。 D：操作できない（協力期間内では習得不可）。	使用度 A：訓練に非常に有効に活用している。 B：訓練に活用している。 C：訓練にあまり活用されていない。 設置状況 A：使用しやすい。 B：使用しにくい。 C：使用が可能な状態に設置されていない。

供与機材活用状況

溶接科

供与機材名	台数	使用度			カウンターパートの 操作保守能力				設置状況			問題点および対策	
		A	B	C	A	B	C	D	A	B	C		
自動ガス切断機	1	○			○								
エンジンウェルター	1		○			○							
アイトレーサー	1			○		○			○				組立が終了していない。
パイプ自動ガス切断機	1			○		○							組立が終了していない。
開先加工機	1	○				○							
三本ローラ	1			○		○							
動力シャー	1	○				○			○				切断不能。 原因および修理方法を調査中。
プレスブレーキ	1		○			○			○				形固定用治具が未納のため 使用不能, 見積り中。
直立ボール盤	1			○		○							
卓上ボール盤	2		○			○			○				
形削盤	1		○			○			○				バイトが現地調達であり, 現在1本しかなく使用上問題がある。
高速砥石切断機	1	○											
両頭グラインダー	2	○											
ボンチングマシン	1		○			○							
材料試験機	1	○				○							
磁気探傷機	1			○									組立が終了していない。
超音波探傷機	1		○			○			○				組立が終了していない。
工業用X線装置	1						○				○		組立が終了していない。
<p>《評価基準》</p> <p>カウンターパートの操作保守能力</p> <p>A: 操作方法を確実に習得し, 応用ができる。 B: 基本操作方法を習得している。 C: 操作できない(協力期間内には習得可)。 D: 操作できない(協力期間内では習得不可)。</p> <p>使用度</p> <p>A: 訓練に非常に有効に活用している。 B: 訓練に活用している。 C: 訓練にあまり活用されていない。</p> <p>設置状況</p> <p>A: 使用しやすい。 B: 使用しにくい。 C: 使用が可能な状態に設置されていない。</p>													

今後の技術移転計画(一部実績含む)

溶接科

カウンタート ナンバー 氏名	担当者	年月											
		1986年 6	7	8	9	10	11	12	1987年 1		2	3	4
マ ガ ル ベ ス オ	カウンタート 訓練担当計画	測定・仕上(90H) 電気溶接 (168H) 電気溶接 (208H) TIG-MIG (88H)材料試験 (30H) ガス溶接 (30H) 電気溶接 (50H) CO ₂ 溶接 (59H) TIG-MIG (40H)材料試験(40H)訓練計画 (15H) ガス溶接 (50H) CO ₂ (15H) TIG-MIG (40H)材料試験(40H)訓練計画 (15H) 板金 (60H) 電気溶接 (30H) CO ₂ (30H)ガス溶接 (10H)											
	技術移転計画	測定・仕上(15H) 電気溶接 (50H) CO ₂ (15H) TIG-MIG (40H)材料試験(40H)訓練計画 (15H) 板金 (60H) 電気溶接 (30H) CO ₂ (30H)ガス溶接 (10H)											
	実	測定・仕上(15H) 電気溶接 (50H) CO ₂ (15H) TIG-MIG (40H)材料試験(40H)訓練計画 (15H) 板金 (60H) 電気溶接 (30H) CO ₂ (30H)ガス溶接 (10H)											
ロ ー ラ ン ド	カウンタート 訓練担当計画	同											
	技術移転計画	同											
レ ネ バル ネ ス	実	同											
	カウンタート 訓練担当計画	同											
	技術移転計画	同											
実	同												

今後の技術移転計画 溶接科

カウンタート バー 氏名	担当者	年/月	1988年												合計時間			
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
マ ル ベ ス オ	カウンタート 訓練担当計画	1987年 7	別定仕上板金 (90H) (90H) ガス溶接	電気溶接 (168H)	電気溶接 (231H) 電気溶接 (140H) TIG, MIG (88H) サブマージ プラズマ 材料試験 (210H) (231H) 工務実習													
	技術移転計画		板金 (30H) (30H) 溶接 溶接 板金 (20H)	電気溶接 (60H)	CO ₂ 溶接 (30H) (40H) CO ₂ 溶接 (60H) TIG, MIG (20H) 訓練計画													
	実 施		訓練計画 (40H) ガス溶接															
ロ ー ラ ン ド	カウンタート 訓練担当計画																	
	技術移転計画																	
	実 施																	
レ ネ ス	カウンタート 訓練担当計画																	
	技術移転計画																	
	実 施																	

今後の技術移転計画

溶接科

カウンタ パート 氏名	担当者	年/月		1989年												合計時間		
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6					
マ リ オ	カウンター 訓練担当計画	測定,仕上被金 (90H) (90H)	ガス溶接 ビテオ教材 (50H)	電気溶接 (168H)	電気溶接 ビテオ教材 (80H)	電気溶接 材料試験 材料試験 (208H) CO ₂ 溶接 (59H) 材料試験 材料試験 (208H)	電気溶接 材料試験 (140H) TIG-MIG 材料試験 (210H)											
	技術移転計画																	
	実施																	
ロ ー ラ ン ド	カウンター 訓練担当計画																	
	技術移転計画																	
	実施																	
レ ネ	カウンター 訓練担当計画																	
	技術移転計画																	
	実施																	

4/2を以て
協力期間終了予定

5. パナマ側の予算の動き

5-1 これまでの実績

(単位 ドル)

	昭和58 (1983)	昭和59 (1984)	昭和60 (1985)	昭和61 (1986)	昭和62 (1987)
INAFROP	170 万ドル	293.6 万	5,051 万	459 万	510.39万
日・パ職訓センター	28.3 万	11.7 万	65.7 万	33.21万	25.7 万

5-2 1988年度予算要求の動き

INAFROPは、1987年度で終了した3科の後を受けて、より一層のプロジェクトの内容充実といった観点から“地方への進出と協力”という事を考えている。そこで1988年の予算要求として以下の案を経済企画政策省に提出した模様である。

(1) 日・パセンター (パナマ市)

科	電子 I	電子 II	電気	冷凍空調	溶接	自動車整備	板金塗装
額	6,833.93	11,104.00	18,501.17	17,438.80	20,576.55	42,592.00	25,000.00

単位：ドル

その他として

コンピューターセンターに7,623.00ドル

視聴覚センターに8,514.00ドルを計画している。

合計227,283.45ドル

(2) 地方への拡充のための予算

科	電子 I	電子 II	電気	冷凍空調	溶接	自動車整備	板金塗装
材料・運営費など	6,833.93	11,104.00	18,511.17	17,438.80	20,576.00	42,592.00	25,000.00
機械・工具費など	52,185.00	52,185.00	69,461.67	44,712.4	63,220.80	51,739.00	50,000.00

単位：ドル

合計 521,549ドル

6. 本プロジェクトに対するパナマ側の評価

6-1 一般的評価

(1) 日本・パナマ職業訓練センターのパナマ国における一般的評価は極めて高いと思われる。本プロジェクトの最高責任者でもある INAFORP のライリー長官は、本プロジェクトの協力成果を高く評価し、これをベースにして地方センターに対する拡大についても、わが国からの協力を得たいとして要請書を提出済みである。

(2) 外務省、企画政策省および労働社会福祉省等の関係行政機関からも一様に、本プロジェクトの位置付けについて、高い評価をしている旨のコメントがなされている。

特に、1986年11月21日に举行された自動車整備科および板金塗装科実習場の落成式および開講式に出席したホルヘ・F・リー労働社会福祉大臣からは、職業訓練を通じて開発される人的資源がパナマ国の社会発展に貢献するところ大であり、本プロジェクトの位置付けは極めて高く、産業界より多大の期待が寄せられている旨の挨拶が行われた。

(3) また、パナマ国における代表的な企業家連合である CONEP (Conesejo Nacional de Empresa Privado—全国私企業経営者協議会) のフリオ・ルーケ副会長のコメント概要は次のとおりであり、産業界からも高い評価が与えられていることが判る。

- ① パナマの企業にとって、日本・パナマ職訓センターでの質の高い中堅技能者の育成は、極めて有益であり、日本の協力に敬意を表したい。
- ② 在職労働者が技術・技能の向上のために、本センターを活用したいので、企業ニーズに沿った3ヵ月間程度の向上訓練コースを設置するか、または仕事が終わってからも通学できるように夜間の訓練コースの開設等を検討してほしい。
- ③ 訓練生が経済的理由で中途退学せざるを得ないような場合には、CONEPなり企業なりに、相談してもらえれば、卒業後は支援企業に就職する等、何らかの条件のもとに支援できる方策がとれるかもしれないので、今後とも本センターと CONEPとの間で緊密な連携をとっていきたい。
- ④ 質の高い日本・パナマ職訓センターの卒業生（テクニコ）の就職については、名簿を前広に提出してもらえれば、できるだけ協力していきたいので、CONEPを利用して本センターのPRを積極的に行ってほしい。
- ⑤ かかる状況に鑑み、本センターの訓練の拡充について、引き続き日本の協力を行ってほしい。

(4) パナマ運河委員会は運河の維持管理に於いて優秀な中堅技能者が不足しているのに鑑み、INAFORP の日・パセンターおよびドイツ・パナマ職業訓練センターの卒業生を優先

的に採用し同運河委員会の技術専門学校の2年次に編入させる事を決定した。1986年度は計6名が採用された。今後も企業実習等を通じ、日・パセーターとの円滑な協力を期待しているとの通知があった。

6-2 工場訓練実習先における評価

これまでに、電気機器科、電子機器科および冷凍空調科において工場訓練実習を行い、卒業生を出しているが、これら実習先等での訓練生に対する評価を聴取したところ、概要次のとおりである。

一般的に言って、各実習先での訓練生に対する評価は良好であると思われる。

- ・故障修理にすぐ手をつけるのではなく、故障に至った原因をよく調べてから仕事にとりかかっている。協調性が非常によい。電気設備、配線回路、制御回路をよく理解しており自ら作成もできる。日本・パナマ職業訓練センターにない機械に強い興味を持ち1ヵ月後は仕事が早くできるようになった。
- ・はじめて取り扱う制御部品に対し理解がはやい。現場で使用している電気用語についても、もっと教えてやってほしい。興味は非常に持っているが実習の不足。1年間の訓練とすればよく訓練されている。
- ・企業実習のあと仮雇用としたが、技能・技術がよく訓練されており本採用にした。将来は職長にと考えている。
- ・どんな仕事でもという訳にはいかないが、基本的技能を確実に身につけており、仕事に対する態度も非常に良いので、修了後できるなら自分の会社で雇いたい。
- ・2年間の訓練期間にしては非常に高度な技能まで学習している（この意見は、大学の電子科3年コース、およびパナマ運河委員会が持っている養成訓練コースのカリキュラムに比較してのコメントである）。
- ・訓練内容には不足は言わない。今迄このような養成訓練センターの必要性を感じていた。今迄は2～3年助手をさせて、アメリカ、日本に研修に出していたので大変助かる。

参 考 資 料

1. パナマ共和国主要経済指標
2. パナマ政府機構図
3. パナマ職業訓練庁 (INAFORP) 組織図
4. ライリー INAFORP 長官履歴
5. パナマ職業訓練統計集1985年度版

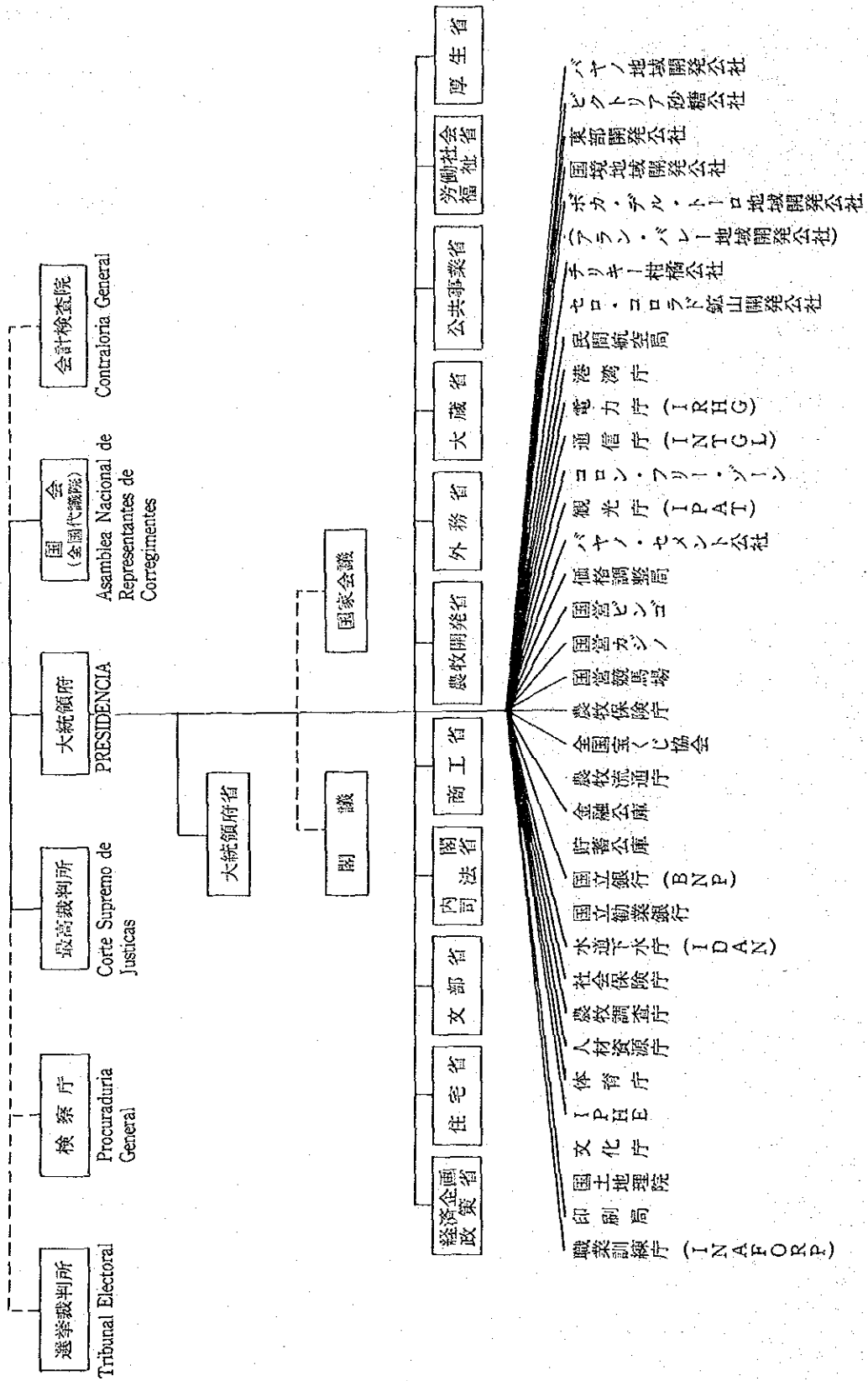
1. パナマ共和国主要経済指標

在パナマ日本国大使館
(1987年6月19日現在)

項目	単位	1982年	1983年	1984年	1985年	1986年	出 所	
1. 名目GDP	百万\$	4,278.9	4,373.7	4,540.5	4,797.0	集計中	会計検査院	
2. 実質GDP	百万\$	1,918.6	1,925.7	1,917.6	1,996.7	2,053.2	会計検査院	
3. 実質GDP伸び率	%	5.5	0.4	△0.4	4.1	2.8	会計検査院	
4. 1人当たり名目GDP	\$	2,098.1	2,094.0	2,127.5	2,200.9	集計中	会計検査院	
5. 国際収支	百万\$	(除くコロン・フリーゾーン)						
経常収支		△405	△203	△238	△240	△175	IMF	
貿易収支		△1,008	△927	△917	△929	△892		
輸出(FOB建て)		489	426	425	411	400		
輸入(FOB建て)		1,496	1,353	1,342	1,340	1,292		
貿易外収支		557	680	600	606	638		
投資収支		△350	△324	△335	△427	△435		
サービス (観光, 輸送等)		907	1,004	935	1,032	1,073		
移転収支		46	44	79	83	79		
資本収支		367	122	158	33	174		
6. 公的対外債務残高	百万\$	3,197	3,488	3,687	3,767	3,886	IMF	
7. 同元利金年間支払額	百万\$	658	495	588	522	569	IMF	
8. 公的対外債務の対GDP比率	%	74.7	79.8	81.2	78.5	76.4	IMF	
9. 公的対外債務償還比率(ネット・サービス・レオ)	%	35.2	29.2	34.7	28.3	30.8	IMF	
10. コロン・フリーゾーン取扱高	百万\$	3,853	2,614	2,878	3,369	4,197	会計検査院	
11. 公共部門財政規模(歳入の部)	百万\$	1,264.5	1,385.5	1,424.6	1,523.3	1,604.2	IMF	
12. 公共部門の財政赤字	百万\$	464.0	247.3	266.4	80.0	55.7	IMF	
13. 金融センター総資産高(3月末)	百万\$	44,370	47,798	39,211	37,240	38,623	国立銀行協会	
14. 金融センターオブショア預金残高(3月末)	百万\$	34,900	36,195	27,678	26,796	28,267	国立銀行協会	
15. わが国の対パナマ輸出額	百万\$	2,924.8	2,169.3	3,443.9	3,326.0	1,438.3 (1-6月累計)	通関統計	
16. わが国の対パナマ輸入額	百万\$	107.0	88.0	167.9	81.3	22.0 (1-6月累計)	通関統計	
17. わが国からの直接投資	百万\$	722	1,223	1,671	1,533	2,401	大蔵省国際金融局 (日本会計年度)	
18. 就業者	人	~	597,345	613,937	629,677	645,400	会計検査院	
19. 失業者	人	~	64,219	68,795	84,548	73,623	会計検査院	
20. 失業率	%	~	9.7	10.1	11.8	10.2	会計検査院	

(注) 1985年数値は暫定値, 1986年数値は推定値

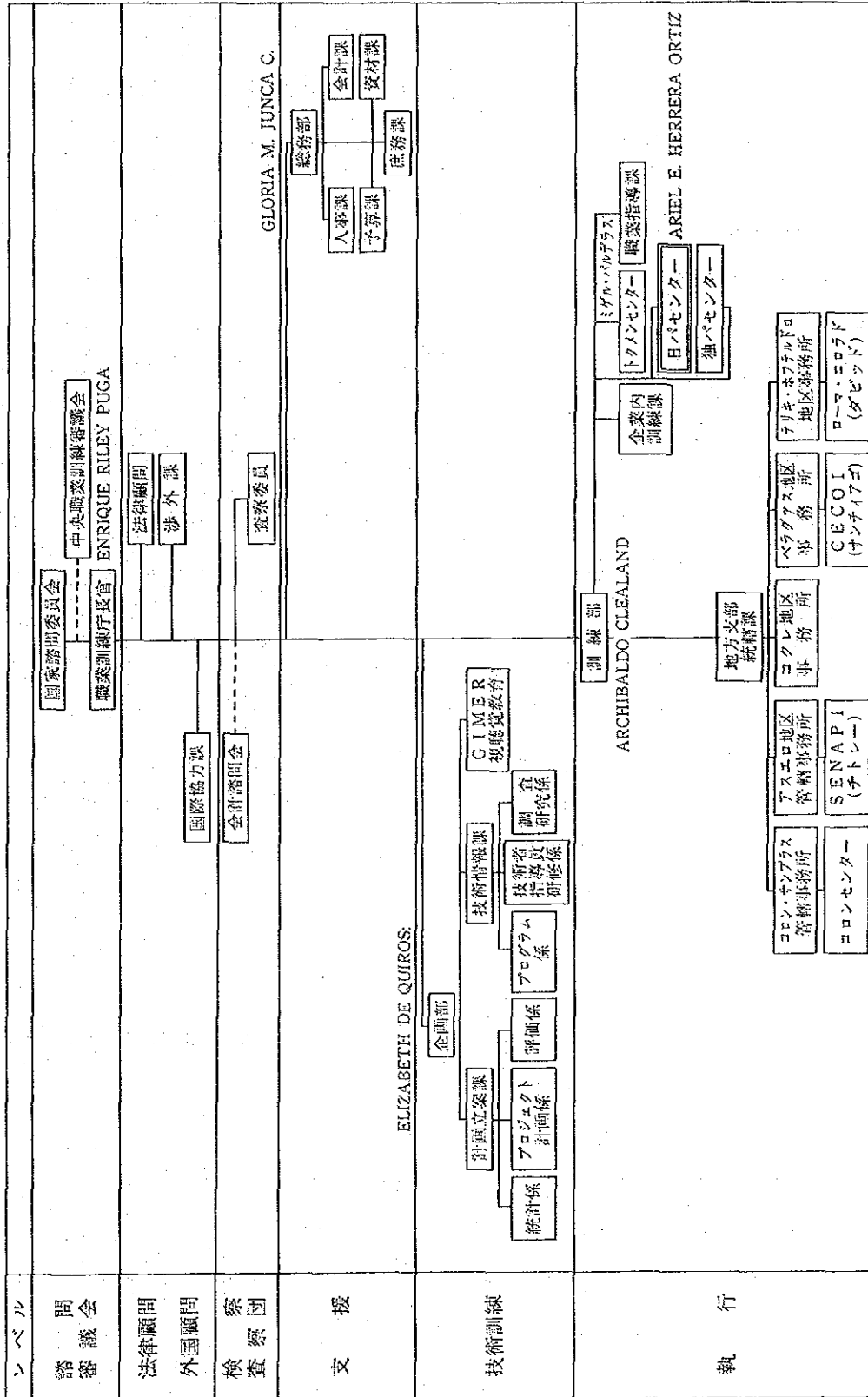
2. パナマ政府機構図



(出所：経済企画政策省)

3. パナマ職業訓練庁(INAFORP)組織図

(1984年9月・経済企画政策省作成 1986年8月変更) 1987年6月現在



4. ライリー INAFORP 長官履歴

① 氏名

エンリケ・ライリー・プーガ ENRIQUE RILEY-PUGA

② 生年月日

1925年(大正14年)11月30日

③ 身分証明書

No. 9-170-188

④ 現住所

Villa Caceres, No. 6

⑤ 学歴

高等学校レベル アルテ・イ・オフィシオ 職業訓練学

大学レベル ノルマ・スペリオル・デ・チョイサ学院 電気指導員コース 1957年
ペルー共和国

⑥ 技術教育

国立技術習得学院 電気インストラクター科1952 リオ・デ・ジャネイロ, ブラジル

リオ・ピエドラ大学 教育セミナー1964 プエルト・リコ

国際技術教育センター 教育法セミナー1966 イタリア

セントロ・デ・モニターレス 職業指導員セミナー1967 スペイン, マドリッド

アセレダ職業センター 職業訓練セミナー1967 スペイン

サン・ビセンテ・デ・フェレール 職業訓練セミナー1967 バレンシア, スペイン

⑦ 職歴

在ペルー・パナマ大使館書記官 1957

アルテ・イ・オフィシオ職業訓練校電気科指導員 1946-1974 (途中抜けた事もあり)

アルテ・イ・オフィシオ職業訓練校校長 1974-1980

国際開発銀行特別調査員 1972 1年間

パナマ職業技術学校(夜間)創設校長 1977-1980

SENAFORP 局長 1980-1983

INAFORP 長官 1983-現在に到る

1983年11月 JICA 高級研修員として日本を訪問

5. パナマ職業訓練統計集1985年度版

INAFORP BOLETIN ESTADISTICO 1985 を中心として

日本・パナマ職業訓練センター

INAFORP 企画部

はじめに

この統計集は1986年7月に発刊された BOLETIN ESTADISTICO 1985を翻訳したものである。その他に Contraloria General (会計検査院)の出している PANAMA EN CIFRAS 1985と世界銀行の世界開発報告1985をつけたした。

翻訳に当たって INAFORP の企画部のアレックス・カリヨン氏に質問して、詳細をわかりやすく書き加えた。

本統計集に先立つものとして BOLETIN ESTADISTICO 1983があり、このたび2年ぶりに翻訳し直してみたが、内容は全く違うものだと言える。1984年度分はさまざまな問題があり、INAFORP としては満足な内容ではなかったので、1985年度版はかなり信頼がおかれる。日本・パナマ職業訓練センター、ドイツ・パナマ職業センターの統計については未だ詳しいものは出されていないので別の機会に紹介したい。

本翻訳に係る作成には日・パセンターの大塚業務調整員が当たった。

1986年9月10日

目 次

1. パナマの主要経済指標	(1)
2. INAFORP 統計指標 (1985年度)	(3)
3. 表1. 1985年度に開設されて終了したコース	(4)
4. 表2. 性別・学歴別の訓練生統計	(4)
5. 図表1. 訓練生の性別・学歴別割合	(5)
6. 表3. 県別のコース内容による訓練生の受講卒業実態 (1985年度)	(6)
7. 図表2. 1985年度の県別の職業訓練受講者の割合	(11)
8. 表4. 1985年度の分野別のコース開設状況	(12)
9. 表5,6. 1985年度の性別・コース別・形態別の職業訓練の現状	(12)
10. 図表3. 無技能者コースと上級技能者コースの入学率と卒業比率	(13)
11. 図表4. 1985年度の形態別の職業訓練の現状	(13)
12. 表7. 地域・性別の訓練生の現状 (1985年度)	(13)
13. 表8. 1985年度の地域別の訓練の現状	(14)
14. 図表5. 1985年度の地域別の職業訓練の受講者の修了率	(15)
15. 表9. 1985年度の職業訓練の分野別の現状	(16)
16. 表10. 1967年から1985年における職業訓練の分野別分類における現状	(17)
17. 表11. 1967年から1985年における分野別分類におけるコース数	(18)
18. 表12. 1985年度の性別の分野分類別のインストラクターの現状	(19)
19. 表13. 1985年度の月別のコース受講者統計	(20)
20. 表14. 1985年度の学歴別の訓練受講者状況	(21)
21. 図表6. 1985年度の月別の職業訓練コース希望者状況	(22)
22. 図表7. 学歴別の受講者状況	(22)
23. 表15. 1985年度受講者にみる就業・非就業の割合	(23)
24. 表16. 1985年度の月別のマキユーラ計画による受講者の状況	(23)
25. 表17. マキユーラ計画の受講者の修了状況	(23)

1. パナマの主要経済指標

面積：77,082km² (北海道よりやや小さい)

人口：196万人

項目	年	単位	1981	1982	1983	1984	1985	資料出所	
1. GDP		百万ドル	3,878	4,279	4,379	4,429	-	IMF 会計検査院	
2. 実質GDP成長率		%	4.3	4.7	Δ1.5	Δ0.4	-		
3. 1人当たりGDP		ドル	1,938	2,090	2,092	2,070	-		
4. 消費者物価上昇率		%	7.3	4.3	2.1	1.6	0.8 (前年9月比)		
5. 失業率(公式発表)		%	-	8.4	9.5	9.4	-		
6. 為替レート(対米ドル固定相場)		1バルボア	1バルボア	1バルボア	1バルボア	1バルボア	1バルボア		
7. 国際収支		百万ドル					(推定)	(注)コロン 自由貿易地帯 を除く IMF	
(1) 経常収支		百万ドル	Δ360	Δ382	Δ163	Δ285	Δ191		
イ. 貿易収支		百万ドル	Δ974	Δ1,007	Δ925	Δ922	Δ846		
輸出(FOB)		百万ドル	526	496	489	428	450		
輸入(FOB)		百万ドル	1,470	1,496	1,352	1,342	1,296		
ロ. 貿易外収支		百万ドル	583	589	721	589	607		
ハ. 移転収支		百万ドル	31	36	41	48	48		
(2) 資本収支		百万ドル	386	569	242	137	123		
8. コロン自由貿易地帯取扱高		百万ドル	4,304	3,852	2,613	2,877	3,390 (推定)		IMF
9. 公的対外債務残高		百万ドル	2,603	3,106	3,405	3,597	4,606 (9月末時点)		IMF 会計検査院
10. 同上対GDP比		%	67.1	72.5	77.8	81.2	-		
11. デッドサービスレインソ		%	40.1	48.9	34.1	39.6	-		
12. 中央政府の歳入(経常収入)		百万ドル	791	865	886	886	当初予算 1,040	IMF	
13. 中央政府の歳出(経常支出)		百万ドル	985	1,148	1,114	1,175	1,020		
14. 公共部門の財政赤字		百万ドル	207.9	464.0	247.3	266.4	244 (推定)		
15. 同上対GDP比		%	5.3	10.8	5.6	6.0	-		
16. 対日貿易		百万ドル						日本通関統計	
(1) 輸出		百万ドル	2,209	2,924	2,169	3,443	-		
(2) 輸入		百万ドル	131	107	67	167	-		
(3) 出入超		百万ドル	2,078	2,817	2,102	3,276	-		
17. 国際金融センター総資産残高(3月末)		百万ドル	40,166	44,370	47,798	39,211	37,240	パナマ国立銀行委員会	
18. パナマ運河								パナマ運河委員会	
(1) 通航船舶数		隻	15,050	15,271	12,954	12,523	11,654		
(2) 通航貨物量		百万t	171.5	185.7	145.9	141	138.9		
(3) 通航料		百万ドル	303.1	325.6	287.8	289	300.8		

主要貿易品目 (1984年)

(単位：百万ドル)

輸 出		輸 入	
品 目	金 額	品 目	金 額
非石油製品	251	工業製品	351
石油製品	133	石油	350
バナナ	75	機械輸送器	204
えび	49	化学製品	160
砂糖	33		

(出所：IMF)

対日貿易品目 (1984年)

(単位：百万ドル)

輸 出		輸 入	
品 目	金 額	品 目	金 額
重化学工業品	3,387	加工製品	115
軽工業品	50	食料品	31
食料品	1	再輸入特殊取扱品	19
その他	5	その他	2

(出所：日本通関統計)

主要貿易相手国 (1984年)

輸 出		輸 入	
国 名	割合 (%)	国 名	割合 (%)
米国	59.1	米国	30.3
中米・カリブ諸国	17.7	メキシコ	9.7
西独	6.5	日本	7.7
日本	0.3	(コロン・フリーゾーン)	10.7
その他	16.4	その他	41.6

(出所：IMF)

2. INAFORP 統計指標 (1985年度)

- ① トクメン・センターで開講されたコース 97コース
- ② 日本・パナマ職業訓練センターで開講されたコース 3コース(電気, 電子, 冷凍空調)
- ③ ドイツ・パナマ職業訓練センターで開講されたコース 9コース
- ④ 1年間に全国でもたれたコース 296コース
- ⑤ 1年間でコースを受講した訓練生 3,553名
- ⑥ 合計開講コース時間数 60,251時間
- ⑦ 1年間に働いたインストラクター数 132名
- ⑧ トクメン・センターで1年間に開講されたコース数 60コース
- ⑨ ドイツ・パナマ・センターの概要 (モジュール方式)

〔第1年次〕

年間44週1,500時間	
金属仕上げ	60日間
ガス・電気溶接	32日間
鋳造	20日間
研磨	20日間
旋盤(1)	26日間
リーマ (穿孔) (1)	26日間
工場実習	20日間

〔第2年次〕

年間36週1,260時間	
電子	40日間
特殊溶接	23日間
旋盤(2)	30日間
リーマ(2)	30日間
機械保守修理	50日間
産業安全	7日間

- ⑩ トクメン・センター職員数 約250名
(インストラクター80名, 秘書90名, 営繕保守40名, 運転10名, その他30名)
- ⑪ 日・パセンター各科定員と卒業・進級状況

()内は卒業・進級者の数

年 度 コース	昭和50年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度
電子(基礎)		16人(14人)	18(12)	18	
電子(応用)			14(14)	12	
電気		16(14)	18(14)	18	
冷凍空調			16(14)	16	
溶接				16	
自動車整備					
板金塗装					

3. 表1. 1985年度に開設されて終了したコース

項目	数(コース)
・合計のコース数	296コース
開設されたコース	293
終了したコース	33
翌年に続いたコース	
・コースを受講した訓練生	4,258名
男子	2,603
女子	1,655
・コースを終了した訓練生	3,553名
男子	2,208
女子	1,345
・合計開講コース時間	60,251時間
・インストラクター数	132名

※解説 1985年に開講したコースは1986年に続いているものがある。

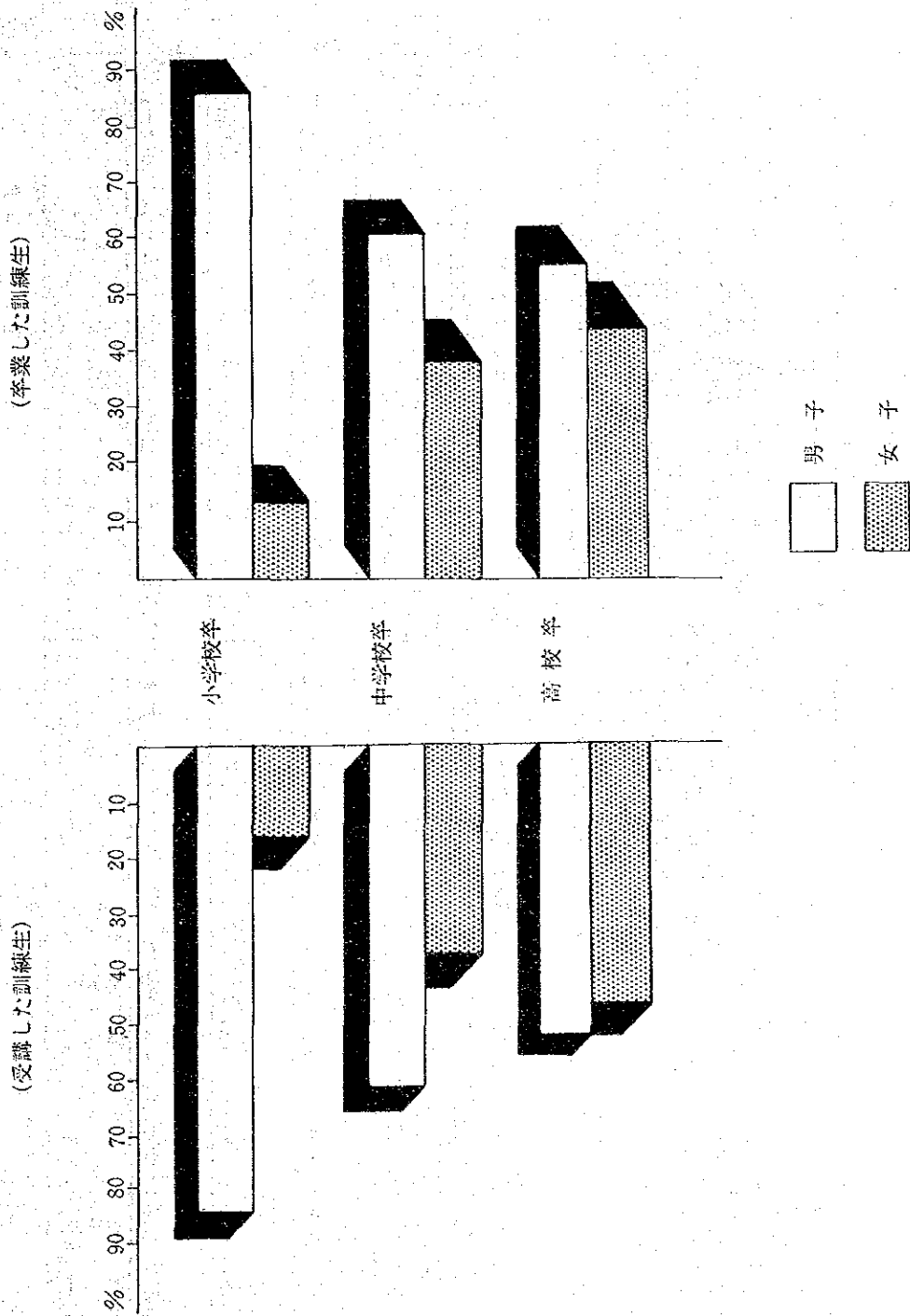
4. 表2. 性別・学歴別の訓練生統計

項目	数	学歴程度 ※解説参照		
		小学校	中学校	高校
・コース数				
開設コース	296コース	31名	172名	93名
終了したコース	263	31	140	92
翌年に続いたコース	33	—	32	1
・インストラクター	4,258名	467名	2,207名	1,584名
男子	2,603	394	1,369	840
女子	1,655	73	838	744
・卒業数	3,553名	415名	1,686名	1,452名
男子	2,208	359	1,033	816
女子	1,345	56	653	636
・合計コース数	60,251時間	5,623h	48,984h	5,644h

※解説 パナマは日本と同じく小学校(6年),中学校(3年),高校(3年)である。義務教育は小学校(Primario)まで。中学校(Segundario)と高校(Terciario)は区分されているが通して6年間行われることが多い。

文科コース(Letla),自然科コース(Ciencia),商業コース(Comercia),産業工業コース(Industrial)の4つに分かれる。卒業すると Bachillerato (バチェラート) という資格が与えられて, 大学に入学できる資格ができる。

5. 図表1. 訓練生の性別・学歴別割合



6. 表3. 県別のコース内容による訓練生の受講卒業実態 (1985年度)

(単位:人)

県名 コース名	合計	入学した訓練生			修了した訓練生		
		小計	男子	女子	小計	男子	女子
合計	263	4,258	2,603	1,655	3,553	2,208	1,345
コクレ県	28	472	258	214	409	239	170
<農業一般>	9	113	84	29	98	73	25
・無技能者コース	7	81	56	25	71	50	21
園芸	2	28	27	1	23	22	1
養鶏	2	19	3	16	16	3	13
牛飼育	1	9	9	-	9	9	-
養豚	1	16	10	6	14	9	5
養蜂	1	9	7	2	9	7	2
・上級技能者コース	2	32	28	4	27	23	4
牛飼育	1	16	16	-	11	11	-
養豚	1	16	12	4	16	12	4
<民芸品製作>	5	87	6	81	65	6	59
・簾家具製作	5	87	6	81	65	6	59
<仕立て>	4	66	2	64	47	1	46
・無技能者コース	4	66	2	64	47	1	46
婦人服仕立て	4	66	2	64	47	1	46
<建築一般>	2	41	40	1	34	33	1
・上級技能者コース	2	41	40	1	34	33	1
トイレ、洗面場仕上げ	1	20	20	-	13	13	-
設計施工	1	21	20	1	21	20	1
<経営・総務>	7	153	126	27	153	126	27
・上級技能者コース	7	153	126	27	153	126	27
監督者養成	3	73	73	-	73	73	-
人事管理	4	80	53	27	80	53	27
<サービス>	1	12	-	12	12	-	12
・無技能者コース	1	12	-	12	12	-	12
美容	1	12	-	12	12	-	12
コロン県	43	668	211	457	511	169	342
<農業一般>	1	21	21	-	14	14	-
・無技能者コース	1	21	21	-	14	14	-
園芸	1	21	21	-	14	14	-
<民芸品製作>	14	213	2	211	167	1	166
・上級技能者コース	14	213	2	211	167	1	166
婦人服飾	6	98	-	98	71	-	71
造花	2	31	-	31	26	-	26
モータ製作	6	84	2	82	70	1	69
<商業>	1	11	6	5	9	6	3
・上級技能者コース	1	11	6	5	9	6	3
接客サービス	1	11	6	5	9	6	3
<建築一般>	3	57	56	1	42	41	1
・無技能者コース	3	57	56	1	42	41	1
左官	2	36	36	-	31	31	-
粗放建築	1	21	20	1	11	10	1
<教授法>	1	12	10	2	12	10	2
・上級技能者コース	1	12	10	2	12	10	2
教育・教授法	1	12	10	2	12	10	2
<経営・総務>	5	69	36	33	63	35	28
・上級技能者コース	5	69	36	33	63	35	28
人材	2	20	20	-	20	20	-
商業編集	1	19	1	18	15	-	15
公衆衛生	1	16	15	1	16	15	1
簿記	1	14	-	14	12	-	12

(単位:人)

県名 コース名	合計	入学した訓練生			修了した訓練生		
		小計	男子	女子	小計	男子	女子
コロシ県							
<電気・電子>	3	38	37	1	26	26	0
・無技能者コース	1	19	19	0	16	16	0
電気配線	1	19	19	0	16	16	0
・上級技能者コース	2	19	18	1	10	10	0
冷凍空調	1	9	8	1	8	8	0
電気配線	1	10	10	0	2	2	0
<料理・喫茶>	3	48	12	36	30	11	19
・上級技能者コース	3	48	12	36	30	11	19
国際料理	1	16	0	16	0	0	7
菓子作り	1	14	0	14	6	0	6
喫茶	1	18	12	6	17	11	6
<漁法・航海>	2	34	31	3	28	25	3
・上級技能者コース	2	34	31	3	28	25	3
船外機修理	2	34	31	3	28	25	3
<サービス>	10	165	0	165	120	0	120
・上級技能者コース	10	165	0	165	120	0	120
マニキュア	5	89	0	89	67	0	67
理髪	3	43	0	43	29	0	29
美容	2	33	0	33	24	0	24
チリキ県							
<農業一般>	11	172	151	21	158	146	12
・無技能者コース	11	172	151	21	158	146	12
園芸	8	129	114	15	115	109	6
養豚	2	27	24	3	27	24	3
バイナップル栽培	1	16	13	3	16	13	3
<民芸品製作>	2	26	1	25	26	1	25
・無技能者コース	2	26	1	25	26	1	25
装飾仕立て	2	26	1	25	26	1	25
<仕立て>	6	89	3	86	84	3	81
・無技能者コース	6	89	3	86	84	3	81
婦人服仕立て	5	79	0	79	74	0	74
男性服仕立て	1	10	3	7	10	3	7
<建築一般>	3	54	48	6	54	48	6
・無技能者コース	3	54	48	6	54	48	6
水道敷設	1	15	14	1	15	14	1
建築	2	39	34	5	39	34	5
<経営・総務>	14	290	190	100	287	187	100
・上級技能者コース	14	290	190	100	287	187	100
監督者養成	6	118	101	17	116	99	17
人材	8	172	89	83	171	88	83
<電気・電子>	2	35	34	1	24	24	0
・無技能者コース	2	35	34	1	24	24	0
配電	1	21	20	1	10	10	0
ラジオ・テレビ	1	14	14	0	14	14	0
<料理・喫茶・観光>	11	186	97	89	186	97	89
・上級技能者コース	11	186	97	89	186	97	89
喫茶	6	113	85	28	113	85	28
コクテル	1	19	12	7	19	12	7
国際料理	2	26	0	26	26	0	26
菓子作り	2	28	0	28	28	0	28
<木材加工>	1	12	12	0	12	12	0
・上級技能者コース	1	12	12	0	12	12	0
家具製作	1	12	12	0	12	12	0

(単位：人)

県名 コース名	合計	入学した訓練生			修了した訓練生		
		小計	男子	女子	小計	男子	女子
チリキ県							
<金属・機械>	2	30	29	1	26	25	1
・無技能者コース	2	30	29	1	26	25	1
基礎溶接	2	30	29	1	26	25	1
<サービス>	4	69	1	68	60	1	59
・上級技能者コース	4	69	1	68	60	1	59
美容	2	34	-	34	34	-	34
マニキュア	1	19	-	19	10	-	10
理髪	1	16	1	15	16	1	15
ダリエン県	2	42	-	42	37	-	37
<仕立て>	2	42	-	42	37	-	37
・無技能者コース	2	42	-	42	37	-	37
婦人服仕立て	2	42	-	42	37	-	37
エレラ県	2	32	30	2	31	29	2
<経営・総務>	1	12	10	2	12	10	2
・上級技能者コース	1	12	10	2	12	10	2
監督者養成	1	12	10	2	12	10	2
<電気・電子>	1	20	20	-	19	19	-
・無技能者コース	1	20	20	-	19	19	-
配電	1	20	20	-	19	19	-
ロス・サントス県	1	15	14	1	14	13	1
<経営・総務>	1	15	14	1	14	13	1
・上級技能者コース	1	15	14	1	14	13	1
監督者養成	1	15	14	1	14	13	1
パナマ県	97	1,546	1,272	274	1,208	992	216
<農業一般>	1	10	9	1	10	9	1
・上級技能者コース	1	10	9	1	10	9	1
農地保全衛生	1	10	9	1	10	9	1
<仕立て>	10	176	45	131	134	41	93
・無技能者コース	9	166	45	121	125	41	84
婦人服仕立て	3	57	-	57	41	-	41
男性服仕立て	3	53	42	11	40	38	2
産業服仕立て	2	33	-	33	26	-	26
室内装飾	1	23	3	20	18	3	15
・上級仕立てコース	1	10	-	10	9	-	9
子供服仕立て	1	10	-	10	9	-	9
<建築一般>	22	349	339	10	234	228	6
・無技能者コース	15	239	239	-	158	158	-
産業塗装	2	27	27	-	24	24	-
建設	5	93	93	-	50	50	-
配管	4	52	52	-	42	42	-
モザイク	3	51	51	-	26	26	-
基礎建設(地方)	1	16	16	-	16	16	-
・上級技能者コース	7	110	100	10	76	70	6
図面判断コース	4	81	72	9	53	48	5
平坦な屋根ふきコース	2	19	19	-	13	13	-
建設保全衛生コース	1	10	9	1	10	9	1
<教授法>	3	58	55	3	44	42	2
・上級技能者コース	3	58	55	3	44	42	2
教育教授法	3	58	55	3	44	42	2

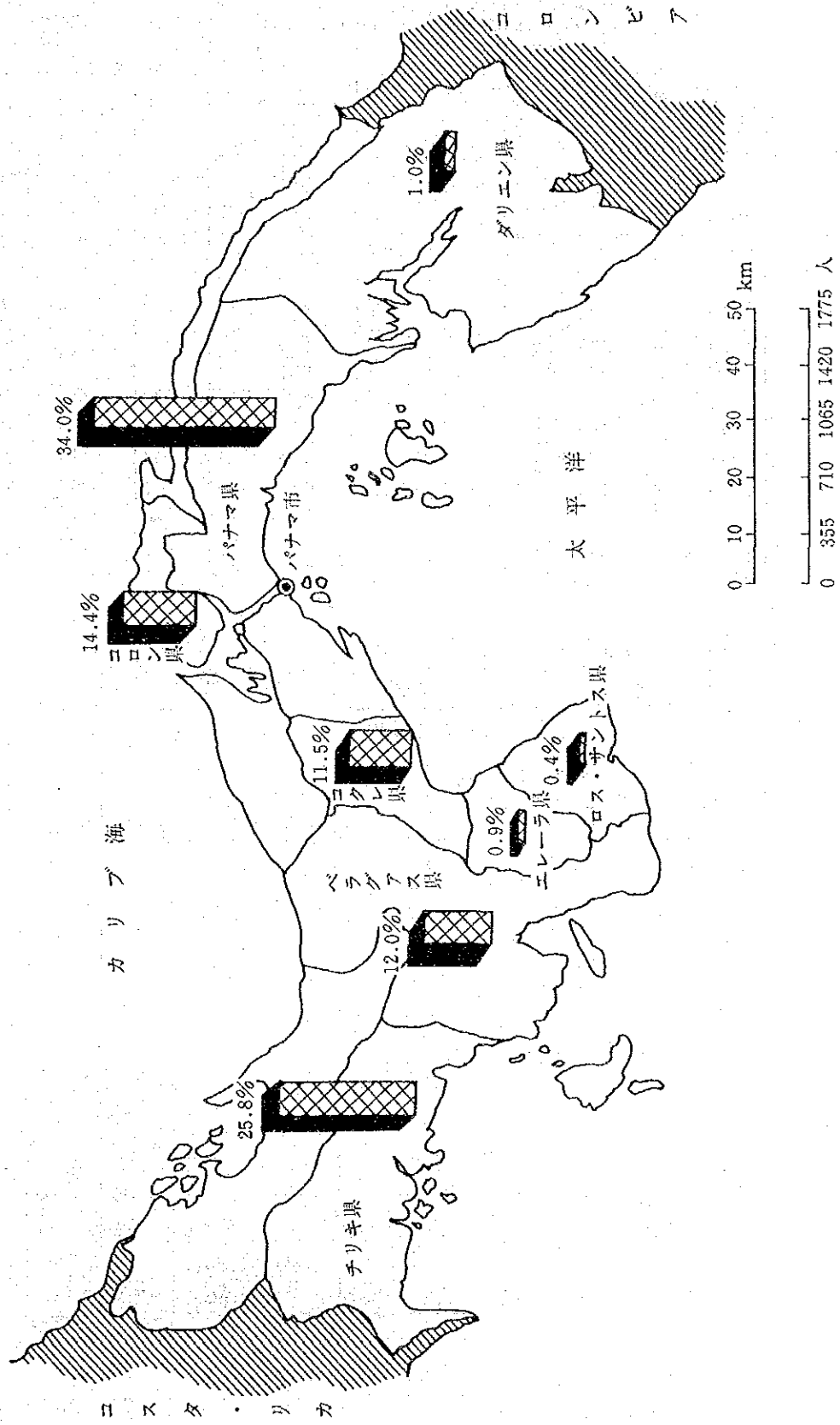
(単位：人)

県名 コース名	合計	入学した訓練生			修了した訓練生		
		小計	男子	女子	小計	男子	女子
パナマ県							
<経営・総務>	18	283	224	59	281	223	58
・上級技能者コース	18	283	224	59	281	223	58
職業保安衛生	3	53	48	5	52	47	5
監督者養成	7	106	90	16	105	90	15
人材開発	1	29	10	19	29	10	19
人事管理	4	59	51	8	59	51	8
職業計画立案	1	9	9	-	9	9	-
職業地位等訓練	2	27	16	11	27	16	11
<電気・電子>	6	112	109	3	90	87	3
・無技能者コース	5	100	97	3	78	75	3
産業電気	1	17	17	-	14	14	-
応用電子	1	14	12	2	14	12	2
配電	3	69	68	1	50	49	1
・上級技能者コース	1	12	12	-	12	12	-
電気保安	1	12	12	-	12	12	-
<料理・喫茶>	5	67	52	15	56	43	13
・無技能者コース	4	58	44	14	47	35	12
国際料理	3	33	29	4	31	27	4
喫茶	1	25	15	10	16	8	8
・上級技能者コース	1	9	8	1	9	8	1
国際料理	1	9	8	1	9	8	1
<木材加工>	7	113	112	1	61	61	-
・無技能者コース	7	113	112	1	61	61	-
家具	6	103	102	1	55	55	-
籐編み	1	10	10	-	6	6	-
<自動車整備>	4	54	53	1	35	35	-
・無技能者コース	2	30	30	-	17	17	-
自動車整備	2	30	30	-	17	17	-
・上級技能者コース	2	24	23	1	18	18	-
測定	2	24	23	1	18	18	-
<金属・機械>	18	276	274	2	225	223	2
・無技能者コース	12	203	203	-	153	153	-
機械一般	1	24	24	-	20	20	-
仕上げ・溶接・旋盤	1	18	18	-	13	13	-
仕上げ・ガス・電気溶接							
電子	1	10	10	-	10	10	-
旋盤・ブラシ・鋳造・鍛造	1	5	5	-	5	5	-
板金	4	78	78	-	55	55	-
溶接	2	28	28	-	24	24	-
鍛冶・製鋼	1	23	23	-	12	12	-
鍛造・電気溶接	1	17	17	-	14	14	-
・上級技能者コース	6	73	71	2	72	70	2
電気溶接	1	8	8	-	10	10	-
ガス溶接	2	23	23	-	20	21	-
旋盤・ブラシ	1	10	10	-	9	9	-
仕上げ	1	16	15	1	16	15	1
鍛造	1	16	15	1	16	15	1
<サービス>	3	48	-	48	38	-	38
・無技能者コース	3	48	-	48	38	-	38
美容	3	48	-	48	38	-	38

(単位：人)

県名 コース名	合計	入学した訓練生			修了した訓練生		
		小計	男子	女子	小計	男子	女子
ベラグアス県	34	520	252	268	426	222	204
<農業一般>	7	106	89	17	99	83	16
・上級技能者コース	7	106	89	17	99	83	16
園芸	2	45	39	6	44	38	6
コンバイン操作	1	12	12	-	9	9	-
養豚	3	26	21	5	23	19	4
基礎穀物栽培	1	23	17	6	23	17	6
<民芸品製作>	2	36	-	36	36	-	36
・上級技能者コース	2	36	-	36	36	-	36
造花製作	2	36	-	36	36	-	36
<仕立て>	10	147	31	116	97	23	74
・無技能者コース	10	147	31	116	97	23	74
草具加工	2	23	23	-	17	17	-
婦人服仕立て	5	85	8	77	50	6	44
ブラウス・パンタロン仕立て	3	39	-	39	30	-	30
<建築一般>	5	61	58	3	50	47	3
・上級技能者コース	5	61	58	3	50	47	3
建設	2	32	32	-	23	23	-
配管	3	29	26	3	27	24	3
<経営・総務>	7	123	43	80	104	38	66
・上級技能者コース	7	123	43	80	104	38	66
測定向上コース	1	13	7	6	13	7	6
人事管理	3	67	30	37	58	25	33
監督者養成	1	19	6	13	19	6	13
商業	1	10	-	10	7	-	7
簿記	1	14	-	14	7	-	7
<自動車整備>	1	13	13	-	13	13	-
・無技能者コース	1	13	13	-	13	13	-
自動車	1	13	13	-	13	13	-
<漁法・航海>	1	21	18	3	18	18	-
・上級技能者コース	1	21	18	3	18	18	-
船外機修理	1	21	18	3	18	18	-
<サービス>	1	13	-	13	9	-	9
・上級技能者コース	1	13	-	13	9	-	9
マニキュア	1	13	-	13	9	-	9

7. 図表2. 1985年度の県別の職業訓練受講者の割合



8. 表4. 1985年度の分野別のコース開設状況

(単位:人)

分野	コース数			入学した訓練生			修了した訓練生		
	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子
合計	263	114	149	4,258	1,971	2,287	3,553	1,417	2,136
農業一般	29	19	10	422	285	137	379	246	133
民芸品製作	23	2	21	362	87	275	294	66	228
商業	1	-	1	11	-	11	9	-	9
仕立て	32	31	1	521	511	10	399	390	9
建築一般	35	21	14	562	364	198	414	224	190
教授法	4	-	4	70	-	70	56	-	56
経営・総務	53	-	53	944	-	944	914	-	914
電気・電子	12	9	3	205	177	28	159	134	25
喫茶・観光	19	4	15	301	67	234	272	44	228
木材加工	8	7	1	125	113	12	73	61	12
自動車整備	5	3	2	67	44	23	48	28	20
金属・機械	20	14	6	306	233	73	251	179	72
漁法・航海	3	-	3	55	-	55	46	-	46
サービス	19	4	15	307	90	217	239	45	194

9. 表5. 1985年度の性別・コース別の職業訓練の現状

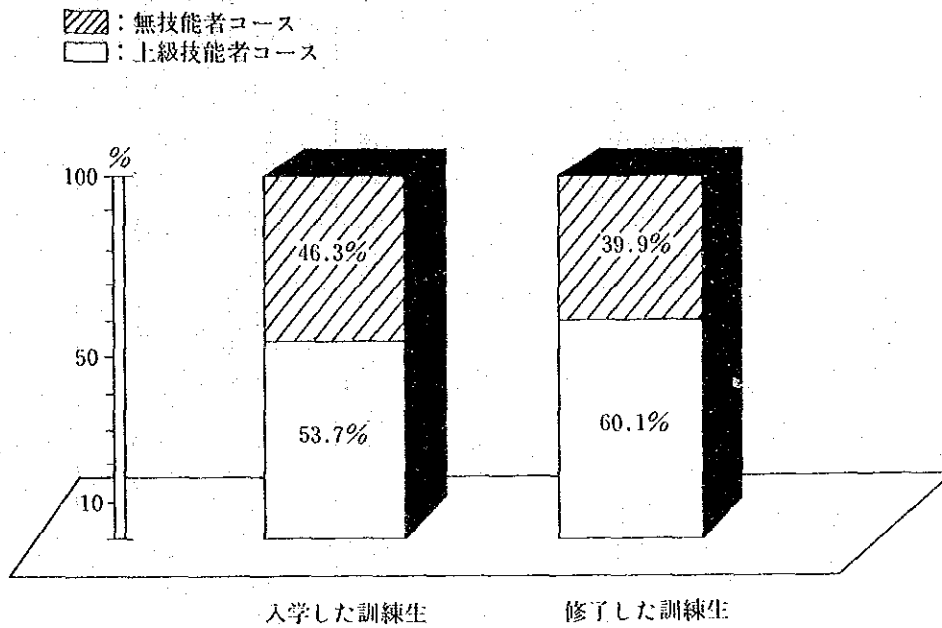
項目	合計	熟練度別	
		無技能者対象コース	上級技能者対象コース
コース合計	263コース	114コース	149コース
時間数	60,251h	51,105h	9,146h
入学した人数	4,258人	1,971人	2,287人
男子	2,603	1,254	1,349
女子	1,655	717	938
修了した人数	3,553人	1,417人	2,136人
男子	2,208	964	1,244
女子	1,345	453	892

表6. 形態別の職業訓練の現状

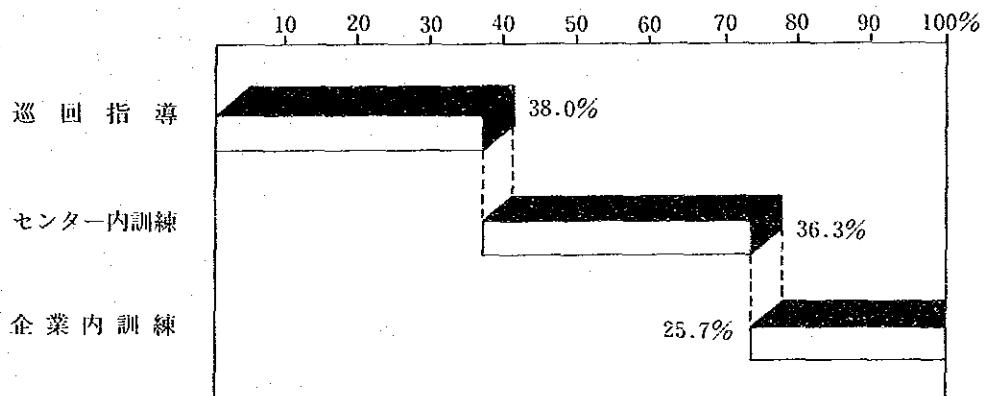
(単位:人)

形態	コース数	入学した訓練生			修了した訓練生		
		小計	男子	女子	小計	男子	女子
合計	263コース	4,258人	2,603	1,655	3,553人	2,208	1,345
センター内訓練	110コース	1,727人	1,139	588	1,288人	837	451
巡回指導	100コース	1,587人	822	765	1,351人	739	612
企業内訓練	53コース	944人	642	302	914人	632	282

10. 図表3. 無技能者コースと上級技能者コースの入学率と卒業比率



11. 図表4. 1985年度の形態別の職業訓練の現状



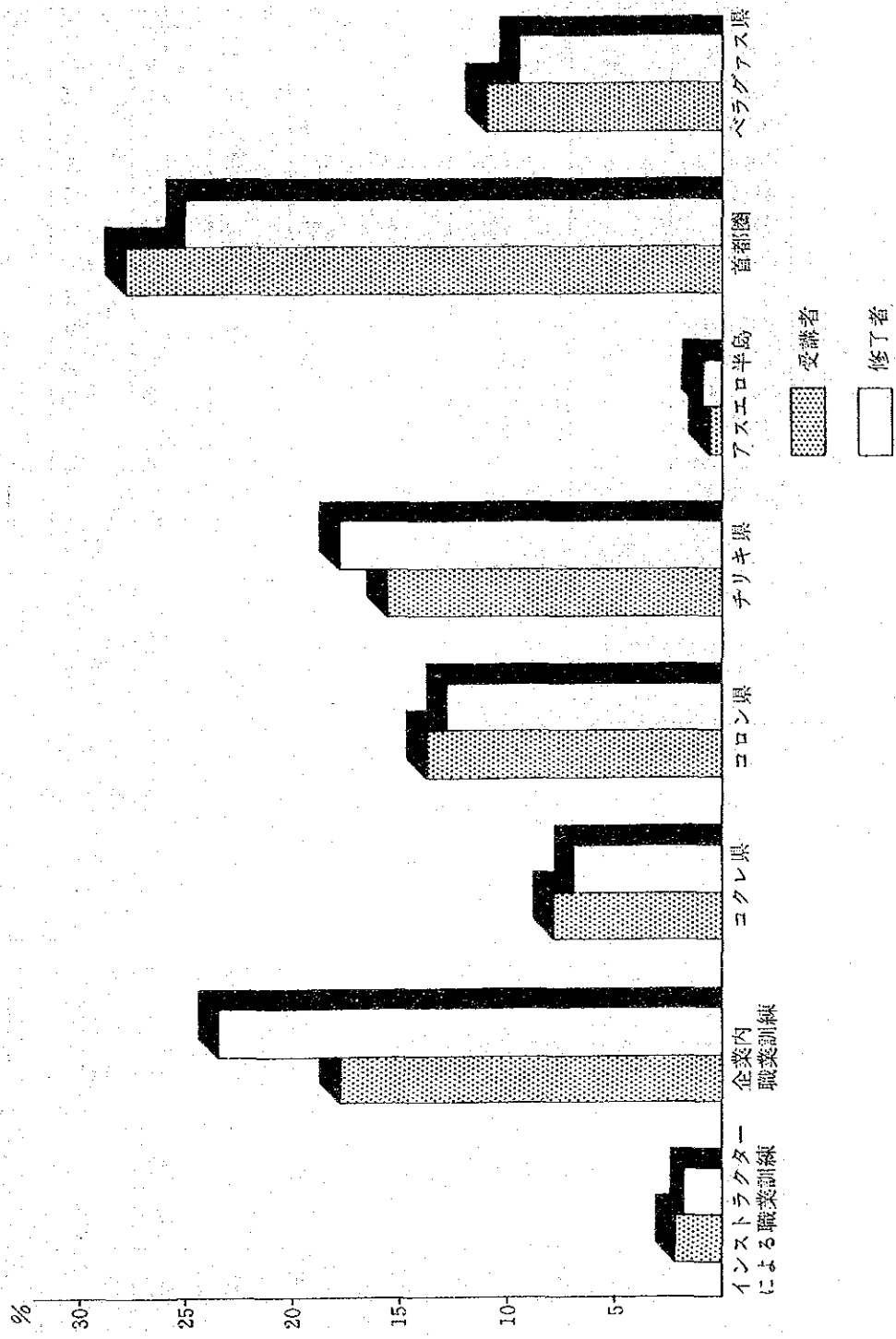
12. 表7. 地域・性別の訓練生の現状 (1985年度)

項 目	合 計	出 身 地 域			
		首 都 圏	中 央 地 区	東 部	西 部
コース数	263コース	133	65	56	9
入学した訓練生	4,258人	2,097	1,040	963	158
男子	2,603	1,428	555	566	54
女子	1,655	669	485	397	104
修了した訓練生	3,553人	1,625	871	926	131
男子	2,208	1,113	511	544	40
女子	1,345	512	360	382	91

13. 表 8 . 1985年度の地域別の訓練の現状

県 別	コース (コース)	時 間 (h)	入学者数 (人)	修 了 者 数	
				数 (人)	修了率 (%)
合 計	263	60,251	4,258	3,553	83
・インストラクターによる訓練	6	327	88	74	84.1
・企業訓練	49	880	887	873	98.4
・コクレー県 (全体)	21	3,764	319	247	77.4
コクレ	21	3,764	319	247	77.4
・コロロン県 (全体)	39	4,793	620	403	74.7
コロロン・センター	21	1,980	336	254	75.6
サン・プラス	7	1,890	116	94	81.0
コロロン	8	608	130	86	66.2
教育技術センター	3	315	38	29	76.3
・チリキ県	42	8,875	673	639	94.9
コロラド・センター	7	2,964	101	92	91.1
チリキ	35	5,911	572	547	95.6
・アスエロー半島 (SENAPI)	1	284	20	19	95.6
エレーラ	1	284	20	19	95.6
・首都圏 (トクメン)	76	37,134	1,229	902	73.4
日独センター	9	3,650	122	112	91.8
日本・パナマ職訓センター	3	4,810	43	40	93.0
トクメン・センター	60	27,496	983	679	69.1
ダリエン	2	566	42	37	88.1
パナマ	2	612	39	34	87.2
・バラグアス (CECOI)	29	4,194	422	336	79.6
バラグアス	29	4,194	422	336	79.6

14. 図表 5. 1985年度の地域別の職業訓練の受講者の修了率



15. 表9. 1985年度の職業訓練の分野別の現状

コース分類	コース数	時間数 (h)	入学した訓練生 (人)			修了した訓練生 (人)		
			小計	男子	女子	小計	男子	女子
合計	263	60,251	4,258	2,603	1,635	3,553	2,208	1,345
農業一般	29	5,403	422	354	68	379	325	54
民芸品製作	23	4,092	362	9	353	294	8	286
商業	1	80	11	6	5	9	6	3
仕立て	32	9,508	521	82	439	399	68	331
建築一般	35	11,953	562	541	21	414	397	17
教授法	4	307	70	65	5	56	52	4
経営・総務	53	1,200	944	642	302	914	632	282
電気・電子	12	7,664	205	200	5	159	156	3
喫茶・観光	19	3,104	301	161	140	272	151	121
木材加工	8	3,327	125	124	1	73	73	-
自動車整備	5	1,350	67	66	1	48	48	-
金属・機械	20	8,975	306	303	3	251	248	3
漁法・航海	3	230	55	49	6	46	43	3
サービス	19	3,058	307	1	306	239	1	238

16. 表10. 1967年から1985年における職業訓練の分野別分類における現状

年 度	合計 (人)	分 野 別 分 類 (人)													
		農 業 一 般	民 芸 品 製 作	商 業	仕 立 丁	建 築 一 般	教 授 法	経 営 総 務	電 気 電 子	喫 煙 観 光	木 材 加 工	自 動 車 整 備	金 属 機 械	漁 法 航 空 油	サ ビ ー ス
Total	63,419	14,024	324	9	9,485	2,119	2,919	10,752	204	805	572	627	4,728	72	9,779
1967	121	-	-	-	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1968	587	50	-	-	142	161	-	-	-	-	-	-	50	-	63
1969	1,200	236	-	-	262	123	68	-	-	-	-	-	150	-	74
1970	1,528	77	-	-	103	499	184	-	-	-	-	-	364	-	30
1971	2,618	98	-	-	170	501	682	-	-	-	-	-	385	-	191
1972	2,917	129	-	-	272	885	980	-	-	-	-	-	228	-	288
1973	3,786	1,047	-	-	519	777	934	-	-	-	-	-	165	-	399
1974	3,772	1,538	-	-	478	389	186	-	-	-	-	-	252	-	733
1975	11,587	3,784	-	-	334	1,418	2,627	-	-	-	-	-	666	-	2,408
1976	6,755	1,653	-	-	1,672	602	443	-	-	-	-	-	432	-	1,738
1977	6,932	2,615	-	-	1,380	485	182	-	-	-	-	-	213	-	1,762
1978	6,521	1,556	-	-	1,397	680	904	-	-	173	126	97	202	-	1,111
1979	3,283	535	-	-	690	357	780	-	-	119	63	75	262	-	315
1980	2,026	28	-	-	384	326	643	-	-	24	101	80	312	-	104
1981	2,352	148	-	-	440	492	652	-	-	-	-	-	287	-	235
1982	1,525	57	-	-	301	286	382	-	-	73	80	100	221	-	-
1983	999	50	-	-	147	244	127	-	-	84	50	84	132	-	39
1984	1,357	23	30	-	395	235	64	-	-	60	79	143	158	-	50
1985	3,553	379	284	9	399	414	914	159	272	73	48	251	46	-	239

17. 表11. 1967年から1985年における分野別分類におけるコース数

年度	合計(人)	分野別分類										別分類					種類								
		農一	業一	農二	業二	商	業	仕立て	建一	業一	建二	業二	教授法	経営・ 総務	電気・ 電子	喫茶・ 観光	木加工	材工	自動車 整備	金属・ 機械	漁法・ 航海	海	サ	一	
Total	5,270	1,099	25	1	934	889	236	627	16	69	58	50	493	4	769										
1967	7	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1968	34	5	-	-	7	8	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	-	-
1969	79	16	-	-	14	21	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	5	-	-
1970	158	7	-	-	12	56	15	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	3	-	-
1971	258	8	-	-	19	56	53	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	17	-	-
1972	427	32	-	-	43	153	20	92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	44	-	-
1973	282	74	-	-	43	58	3	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	31	-	-
1974	279	120	-	-	29	37	6	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	52	-	-
1975	908	270	-	-	178	127	33	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	181	-	-
1976	549	119	-	-	137	55	21	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	137	-	-
1977	631	214	-	-	143	45	21	15	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	48	-	-	133	-	-
1978	498	134	-	-	99	66	18	50	-	-	-	-	-	-	12	11	4	4	25	25	-	-	79	-	-
1979	266	46	-	-	51	36	8	47	-	-	-	-	-	-	6	9	9	9	20	20	-	-	34	-	-
1980	143	2	-	-	27	26	2	34	-	-	-	-	-	-	2	10	6	6	25	25	-	-	9	-	-
1981	155	11	-	-	32	34	7	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	14	-	-
1982	116	5	-	-	22	21	2	24	-	-	-	-	-	-	6	7	8	8	21	21	-	-	-	-	-
1983	98	5	-	-	13	27	3	9	-	-	-	-	-	-	7	6	8	8	14	14	-	-	6	-	-
1984	109	2	-	-	32	21	4	4	-	-	-	-	-	-	5	7	10	10	14	14	-	-	3	-	-
1985	263	28	1	32	35	4	4	53	12	19	8	5	20	3	19	8	5	5	20	20	-	-	3	-	-

18. 表12. 1985年度の性別の分野分類別のインストラクターの現状

分野分類	計	性別	
		男子	女子
合計	132人	100人	32人
農業一般	14	14	-
民芸品製作	8	2	6
商業	1	1	-
建築一般	24	24	-
教授法	5	3	2
経営・総務	6	4	2
電気・電子	13	13	-
喫茶・観光	9	7	2
木材加工	7	7	-
自動車整備	5	5	-
金属・機械	14	14	-
漁法・航海	2	2	-
サービス	9	-	9
仕立て	15	4	11

19. 表13. 1985年度の月別のコース受講者統計

(単位:人)

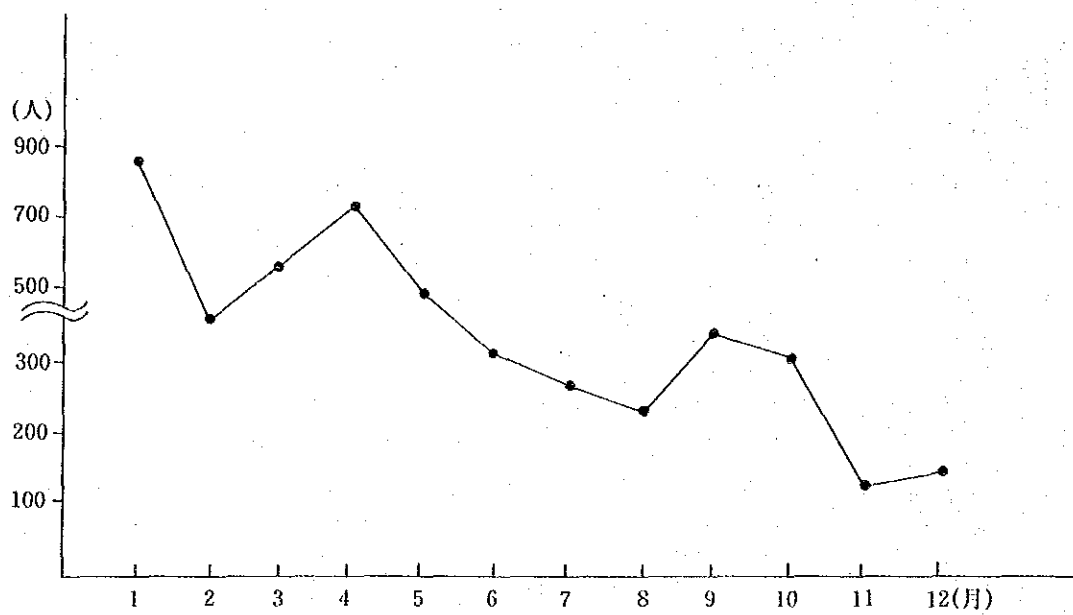
分類分野	小計	性別		月別統計											
		男子	女子	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	4,843	3,264	1,579	855	419	579	725	474	330	271	238	376	309	136	140
・民芸品製作	49	1	48	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-
造花	18	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-
モーク製作	31	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-
・仕立て	1,090	208	882	259	111	160	163	113	41	66	44	30	50	36	17
婦人服	395	2	393	80	22	63	68	55	13	25	22	13	14	13	7
男性服	283	199	84	78	21	37	44	27	11	18	13	9	12	9	4
産業服	405	2	403	101	68	60	51	31	17	21	5	7	24	14	6
壁布	7	5	2	-	-	-	-	-	-	2	4	1	-	-	-
・建築一般	637	624	13	105	55	52	102	36	25	51	51	77	61	7	16
レンガ・石材	186	182	3	37	5	10	29	3	6	6	21	44	23	-	2
配管	160	156	4	44	10	18	24	12	7	8	5	8	13	6	5
産業塗装	90	88	2	5	13	12	20	9	5	4	4	10	6	-	1
モザイク・タイル	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図面解説	72	68	4	1	23	6	8	5	3	13	-	5	6	1	1
大工	29	29	-	14	-	6	-	3	4	-	-	2	-	-	-
建築	78	78	-	-	4	-	21	3	-	10	16	8	13	-	3
材料見積り	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
天井・葺きばり 仕上げ	16	16	-	-	-	-	-	1	-	10	5	-	-	-	-
・電気・電子	679	656	23	43	50	90	84	51	97	46	40	63	61	14	40
配電	315	314	1	25	29	61	54	28	22	21	23	27	12	13	-
基礎電子	211	202	9	18	10	20	17	18	21	10	2	21	41	-	33
産業電気	67	66	1	-	11	6	9	3	-	8	8	11	5	-	6
冷凍空調	26	26	-	-	-	3	4	2	-	3	5	4	3	1	1
航海無線	60	48	12	-	-	-	-	-	54	4	2	-	-	-	-
・喫茶・観光	392	174	168	96	33	38	37	32	44	19	8	14	6	8	7
国際料理	160	95	65	38	25	19	13	12	30	10	2	4	3	4	6
製菓	119	59	60	58	8	-	16	14	-	-	6	10	3	4	-
喫茶サービス	63	20	43	-	-	25	8	6	14	9	-	-	-	-	1
・木材加工	370	367	3	28	26	58	99	47	45	19	4	11	7	13	13
家具製作	369	366	3	28	26	58	99	47	45	19	3	11	7	13	13
縮かご編み	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
・自動車整備	503	497	6	65	41	61	89	61	21	29	21	58	24	14	19
自動車整備	478	472	6	65	41	61	89	54	21	29	19	50	17	14	18
ジーゼル	22	22	-	-	-	-	-	7	-	-	-	7	7	-	1
電子制御	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-

20. 表14. 1985年度の学歴別の訓練受講者状況

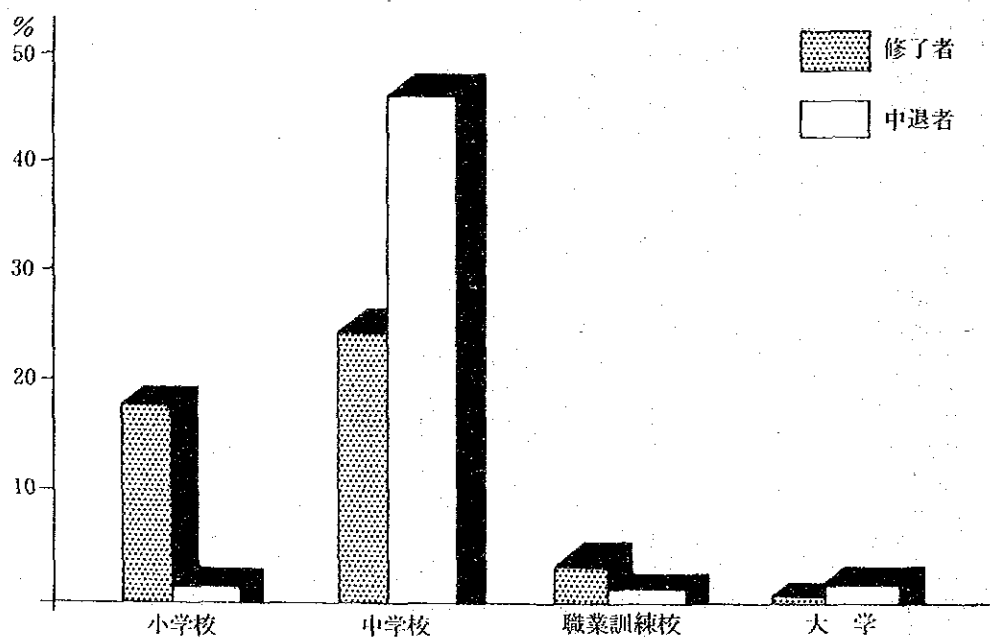
(単位:人)

コース分類	計	性 別		学 歴							
		男子	女子	小 学 校		中 学 校		職業訓練校		大 学	
				修了	中退	修了	中退	修了	中退	修了	中退
合 計	4,843	2,284	1,579	911	49	1,165	2,312	230	48	13	117
・民芸品製作	49	1	48	21	-	5	18	4	-	-	1
造 花	18	-	18	6	-	4	3	4	-	-	1
モチーフ製作	31	1	30	15	-	1	15	-	-	-	-
・仕立て	1,090	208	882	241	19	174	598	36	8	2	14
婦人服	395	2	393	100	11	67	202	3	3	2	7
男性服	283	199	84	66	4	54	136	18	1	-	4
産業服	405	2	403	75	4	53	251	15	4	-	3
壁 布	7	5	2	-	-	-	7	-	-	-	-
・建築一般	637	624	13	192	15	104	290	17	2	1	16
レンガ・石材	185	182	3	55	3	30	80	4	-	1	3
配 管	160	156	4	48	1	29	69	4	1	-	8
産業塗装	90	88	2	34	4	4	46	1	-	-	1
モザイク・タイル	4	4	-	-	-	1	3	-	-	-	-
図面解説	72	68	4	20	1	19	27	4	-	-	1
大 工	29	29	-	70	1	1	19	-	-	-	1
建 設	78	78	-	26	5	14	31	2	-	-	-
材料見積り	3	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-
天井・椅子・室内装飾	16	16	-	-	-	6	6	2	-	-	2
・電気・電子	679	656	23	44	1	328	214	39	8	8	37
配 電	315	314	1	35	1	71	184	20	-	1	3
基礎電子	211	202	9	1	-	157	21	14	6	2	10
産業電気	67	66	1	8	-	45	6	3	2	-	3
冷凍空調	26	26	-	-	-	20	3	2	-	-	1
航海無線	60	48	12	-	-	35	-	-	-	5	20
・喫茶・観光	342	174	168	55	1	79	178	15	2	1	11
国際料理	160	95	65	28	1	38	77	9	1	1	5
製 菓	119	59	60	21	-	27	67	1	-	-	3
喫茶サービス	63	20	43	6	-	14	34	5	1	-	3
・木材加工	370	367	3	109	4	33	204	13	5	-	2
家具製作	369	366	3	109	4	33	204	12	5	-	2
簾かご編み	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
・自動車整備	503	497	6	77	1	119	245	36	14	1	10
自動車整備	478	472	6	76	1	104	243	32	11	1	10
ジーゼル	22	22	-	-	-	15	-	4	3	-	-
電子制御	3	3	-	1	-	-	2	-	-	-	-
・金属・機械	721	713	8	107	6	208	350	33	3	-	14
機械一般	173	171	2	10	-	79	71	8	1	-	4
板 金	196	195	1	41	4	28	113	6	-	-	4
溶接一般	224	221	3	42	-	50	114	15	-	-	3
鋳造・鍛造	91	91	-	14	1	25	48	1	-	-	2
特殊溶接	12	12	-	-	-	10	-	2	-	-	-
産業機械	21	20	1	-	-	16	2	1	2	-	-
機械設図	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1
旋 盤	2	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
・漁法・航海	20	20	-	4	-	3	3	2	3	-	5
船外機修理											
・サービス	432	4	428	61	2	112	214	35	1	-	7
美 容	318	4	364	59	2	87	197	18	1	-	5
マニキュア	44	-	44	2	-	15	12	12	1	-	2
理 髪	20	-	20	-	-	10	5	5	-	-	-

21. 図表6. 1985年度の月別の職業訓練コース希望者状況



22. 図表7. 学歴別の受講者状況



23. 表15. 1985年度受講者にみる就業・非就業の割合

(単位：人)

年齢	合計	就業と非就業の比		
		就業者	失業中	新規
総計	4,843	688	3,483	672
15-19歳	2,234	181	1,590	463
20-24	1,518	226	1,147	145
25-29	584	149	392	43
30-34	308	76	215	17
35-39	126	34	88	4
40-44	47	14	33	-
45-49	16	4	12	-
50歳以上	10	4	6	-

24. 表16. 1985年度の月別のマキユーラ計画による受講者の状況

(単位：人)

生産	小計	月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	2,495	397	161	359	-	165	757	205	105	239	66	41	-
Industrial de Tabaco社	46	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Panama Cigars Co. 社	46	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業仕立て	2,449	397	115	359	-	165	757	205	105	239	66	41	-
Texil IIR Internacional社	319	282	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Greenbay Overseas International 社	2,130	115	115	322	-	165	757	205	105	239	66	41	-

※解説 マキユーラ計画 (El Programa Máquilla) とは、国の依頼をうけてCECOI(ペラグアス県、サンチャゴ市)らが企業に就業する前の未熟練者に数ヵ月にわたって事前に講習を受けさせるシステムである。

25. 表17. マキユーラ計画の受講者の修了状況

(単位：人)

企業名	履修科目	場所	訓練生		
			申込者	受講者	修了者
TRIMIX INDUSTRIAL 社	仕立て	コロン市	53	38	21
Confecciones Los Angeles社	仕立て	パナマ市	30	25	21
Greenbay Overseas International 社	仕立て	コロン市	1,321	1,050	751
Panamtex Gormet Factory 社	仕立て	チョレーラ	41	34	27

JICA